關西大學新聞

（毎月二十日一回發行）

本紙定價　一部　金五錢
廣告料　一行十五字詰　十五錢
大阪市港區天保町二六ノ三
編輯發行印刷人　太田金一
發行所　大阪府三島郡千里山村片山一七
關西大學千里山學友會新聞部
電話吹田一二三番
振替大阪一二八七五

大阪
時事新報社
北區曾根崎上四丁目

神と人と法

和田豊二

一

概括的に觀て法は近世まで宗教といつも押合世帶を續けて來たが十七世紀頃から理性に覺めて一切の奴隷農奴の制度や異教徒の迫害言論の壓迫等變態的な生活を打切つて陰慘から一路明朗化へと躍進して來た。ところが最近獨逸、伊太利あたりで此の理性に對する一大革命が勃發して、生活がすべて感情に訴へられ、一語も自由に發し得ない樣な獨斷的信條が社會秩序の神聖な基礎をなすに至つた。茲にその例證がある。ヒトラ總統はミユーラー僧正に「ナチス革命は神の試業である。自分は神に對する任者として最高の要職にある」と語つたことがある。ソビエツトロシヤは從來反宗教政策を國政の一に擧げてゐるが共產黨と宗教とは其本質において同一だとの同情的見解が最近頻と聞れて來る。

自然界に於ける四季の樣に社會事象も繰り返すのだとすれば、法もそろ〳〵往時を憧れ出したのではなからうか。又それが本當の生活なのであらうか。彼の生活史を詮索する必要がある。

二

英國の偉大な法學者メインは半世紀も前に「法の起源よりも法律家の起源を發見する方が容易である」と云つた。今その方法を拜借することにしよう。

古代の王は眞の長であり同時に往々僧侶でもあり、又常に裁判官でもあつた。社會の秩序が合理的に保たれることを欲しなかつた古代人は深く迷信に依つて支配されてゐた關係上王は必ず一面大魔法使ひであつた。病氣を治し雨を呼ぶ等自然を支配する力があると科學的無知な人々から信ぜられてゐた。宗教の發生が徐々に魔術を驅逐して行くと同時に魔法使ひは神にまで昇格し魔術の機能は宗教教義に變形して行つた。神は彼等の手の屆かない彼方にあるのでなくむしろ彼等の緣つゞきだと考へてゐたから彼等の中の優者が或は生前に或は死後に神として崇められた。王が神であると云ふのはこの神人の意味でその性質なり生活なりが明かになれば法の生活史も自ら判然と浮び出て來よう。

三

二三の有名な史實丈けを引例して見よう。マヌーの法典に依れば王は火風閻魔太陽月富等の諸神から成り立つてゐた。だから萬物を凌駕する威大な力を持つた神であつたので若し王が幼兒でも決してたゞの人間として輕侮されてはならなかつた。それは人間の形相を持つた神であつたから。

マホメットは神託を授ける豫言者であつたと同時に六二二年メジナに逃走してからは次第に近隣を劍を以て征服し遂に一大政權を手にした。だから彼は裁判もすれば戀愛も與へ立法もすると云ふ現實の支配者であつた。

寺院は彼の會議室であると同時に說教場であつた。金曜日の說教は重要な政治發表の機會であつて神の代辯者として彼は遠大な理想を說いてゐた。

古代ギリシヤの王はすべて僧侶であつたと云へよう。アリストテレスの政治論に依ると都市の公的な供物を奉納するものは特殊階級の僧侶ではなくて王と呼ばれアルコンと稱へられた人々であつた。スパルタの王は司祭者命令者裁判官の三箇の屬性を具有してゐた樣である。ホーマは常に聖祭を取り行ふギリシヤ王を端的に描寫してゐる。だから若し王が役人に依つてその手を穢せば最早や供物奉納の條件が缺けて司祭者でなくなり王位を退かなければならない破目になる。

ローマの王もすべて僧侶であつた。ロムラス王の如きも占卜を勉强して宗教儀式によつて都市を建設した樣である。君主的憲法に基いて彼は單の統率者であると同時に最高の僧侶であり元老院と民會との補助機關によつて國を治めて行つた。共和政體のローマになつてもこのことには變りがなかつた樣である。だからローマでは宗教問題の理解出來ないものは法がわからず法の知識に疎いものは僧侶になれず、王になれないと云ふ關係になる。それでコンサルの最初にせねばならぬことは公會所で供物を自ら奉納することであつた樣だ。

イギリスやフランスの王達は十一世紀以來治病の不思議な力を持つてゐた樣である。彼等は古代ゲルマン人の後裔で、その民族には王が神の子で自然を支配し得る特殊な力を持つてゐると信じてゐたから。イギリスのエドワード三世はフランスのフイリツプ王に書を送つて紛爭の解決條件を提示した。一つは飢ゑたライオンの前に身を曝け出すこと、眞の王はライオンに傷つけられることがないから。今一つは治病の不思議な方法を完成すること、眞正の王ならそれを持ち合せてゐるから。これの眞僞は但し疑問であるが然し當時の人々が王に對して持つてゐた觀念が窺はれよう。比較的最近までイギリスの王には瘰癧を觸手方式によつて治す不思議な力を持つてゐた樣だ。事實ヘピイスは千六百六十一年の四月十三日に王の治病手術を見たと云ひ、又チヨーンスン博士は子供の時アーン女王から觸手術を受けたと云ふことである。フランスでも千八百二十五年にチヤールス十世によつて不思議な治病術が講ぜられたらしい。

四

例話は是位にして置かう。一般に王の人格内には僧侶と裁判官と命令者とが雜然と混入してゐた。都市を支配するとしてもその都市は政治社會であると同時に宗教社會でもあつた。だから王は自分の手で儀式祭禮も行ひ、占ひもし病も治した。王は自ら神であると云つても人々は神人として信仰對象にしてゐたに過ぎない。それでそれ等の神々も人々と交通もすれば人々の法や慣習に參加もしてゐる

時には酋長や海賊の討伐に出かけたり、宴會を開いて痛飲し狼藉を極めたりする。人々に迷惑をかけ、無慈悲に殘酷すると云つた氣まぐれ行爲が繰返しなされた。

それでも人間はいつも心の一隅で神になりたがつてゐる。人間にはどうしても神が嫌いになれないらしい。そうだとすると法が昔の生活を憧れるのも何とか優しく取計らつてやらねばなるまい。發展史上からこの新活動を眺め其處により實踐的な意義を見出さうとするとも、この問題解決の一方法ではなからうか。私は又茲で我が天照大神の御事どもや帝、陛下の尊稱或は憲法第三條等を毫も考への中に入れてゐない。初めから筆を改めて出なほすべきであるから。（完）

國際平和の根本問題

末廣重雄

國際聯盟成立して既に十有餘年この間聯盟國は國際紛爭の平和的解決方法を案出することや、安全保障を設けることなどに苦心焦慮して、戰爭を防止せんとしつゝあるけれども、斯くの如きは抑も末である。戰爭を防止せんとするには、進んで戰爭の原因たる國際紛爭の發生を防止することが必要である。これが戰爭防止の根本塞源の策である。これは恰も火災の消防のために大金をかけて設備するよりも、火災の發生其ものを防止すべく、これがためには不燃質の材料を以て家屋を建築することが根本策であると同樣である。ところで、戰爭を惹起すべき國際紛爭の發生には種々樣々の原因はあらうがその中で重大なのは、國際社會における富の分配が甚だしく不公平であつて、歐米に在りては英佛露米諸大國、亞細亞に在りては支那の如き地大物博の國所謂持つ國と我國を始め、大國といはれながら獨伊諸國の如く領土は狹小で天惠に乏しい謂ゆる持たぬ國とが對立し、自然國家間に不和軋轢が生ずることである。

去る二月五日英國下院において勞働黨議員ソータイ博士のいふたところは肯綮に中つてゐる。同日同院に勞働黨のランスベリーが、列國の軍備大擴張の誘因を除去し國際平和を鞏固する基礎の上に建設するために、原料品の分配のみでなく、市場の獲得や移民に關する問題をも再吟味する目的を以て國際經濟會議を招請することに關する動議を提出したときに、これに贊成して、博士は左の如く主張した。

日獨伊の如き元氣旺盛の國が、その國民の多數が實際半ば餓ゑつゝあるときに、近代の文明生活に必要なるものを十分得る能はざる現狀に不平を抱かず、現在の境遇に甘んずるが如きは望むべからざることである。持たぬ國が持つ國より其の所有するもの丶一部にして、近代生活に必要なるものを得んとするは、人間の本性に照し蓋し當然のことであらう。歐米諸國殊に英國の經濟政策を根本的に改めざる限り、新しき戰爭は到底避けられないであらう。

日伊等の持たぬ國が、自國人民の生存發展のためには世界の現狀に滿足し得ざることは、極東にありては滿洲事變、次で最近における我國の北支進出となり、阿弗利加にありては伊太利・エチオピア紛爭となりて現はれ、世界の不安動搖を惹起したから、これに刺戟せられて、昨秋ハウス大佐は「國際ニユー・デイールの必要」とする論文を公にして、植民地再分配の必要を主張したのである。

植民地再分配に對し、國境の變更に關係なく資源の再分配を主張する者もある。けれども、現在のところ原料品の獲得に實際上困難がないから、その再分配は一般持たぬ國にとりて太して問題となつてゐない。世界的に經濟的國家主義が勢盛んであつて工業の生產品が到るところにおいて閉め出しを喰はされてゐる我國などにとりては植民地再分配によりて市場を擴大し得ることが望ましい、列國間の通商を阻碍する經濟的障壁の撤廢卽ち市場の門戶開放はより以上必要であることを附け加へたい。

以上のことは、世界戰爭の末期において、戰後の平和に關聯して問題となつたが、最近ハウス大佐の意見が公にせらるゝに及び、再び列國の識者間に盛んに論議せられ英國においては今春以來議會の問題となつた。

……

植民地又は資源の再分配に關しては議論區々である。「ザ・グレート・イリユージヨン」の著者として名あるノルマン・エンジエルは近著において、再分配が大規模に行はれても、これによりて平和論者の理想を實現し難い、ヴエルサイユ平和條約を改正し、獨逸をして、同國が世界戰爭勃發當時に有した植民地を回復せしむることは平和を確立する所以でないと論じ元駐日獨逸大使ゾルフは、再分配論は一の理想論に過ぎないと輕く扱ふてゐる。

この再分配論には、世界戰爭の結果委任統治の名義にて植民地を獲得した佛白兩國政府ともに反對するらしく、傳ふるところによれば、我國の海軍當局腦部の意見も南洋の委任地域を手放す理由は絕對にないとしてゐるさうである。

……

然らば列國中、最大の植民地と委託地域を有するの故を以て、再分配論に最大利害關係を有する英國は如何にこの問題を考へてゐるか英國前外相ホーアは、昨年九月の聯盟總會において、戰爭を誘發する原因除去につき調査研究する必要あるを認め、工業國間に原料品の自由なる分配の行はるゝやう工夫すべきことを主張した。

現外相イーデンは去る二月二十四日、下院において、英國政府はホーア前外相が再分配問題につき聯盟總會に提議せるところを撤回する意思なきことを言明したけれども、この目的を達するには現在の國際情勢は餘りに複雜であるとして、問題解決に熱意なきを示した。更に去る七月二十七日同院における演說においても同外相はランスベリーが提議するが如く國際平和に關係ある經濟問題を國際會議において提議するとに正面から反對はしないけれども多數の國際問題が未解決の狀態にある今日更に、國家間に重大なる意見の衝突を招來するやうなことを持出さないやう希望した。近年自由貿易の傳統を敝履の如く棄てゝ英帝國構成員の經濟ブロックを組織し、日本商品排斥に厄鬼となれる英國としてはさもあるべきことである。本來再分配殊に植民地再分配は實行至難である上に、英國の態度右の如くであるから、平和的に問題の解決が出來る見込は殆どないといはざるを得ない。

……

持つ國と持たぬ國との對立は將來益々尖銳化するであらう。ハウス大佐のいふ如く「持つ國がその持つところのものを持たぬ國に分配するにあらざれば、現在我々が直面するよりも遙に甚だしい混亂と慘事とが他日我々を見舞ふであらう」。再分配問題解決の鍵が力の外にない以上、今後列國間に軍備の大競爭は必至の勢ひであり、世界戰爭前の歷史を繰返すことになるであらう。

學友會懸賞

論文
學生歌　募集締切迫る

今秋當學友會主催に依り懸賞論文及び學生歌募集中にて締切は數日後に迫り、本學學生並びに豫科生諸子の大いに奮つて應募投稿榮譽ある選に入られんことを切望してゐる

締切日　本月末

千里山學友會

ハーンの金融市場理論

森川太郎

……◇一◇……

「金融市場の理論を構成することは、一の興味あり且つ仕甲斐のある仕事である。吾々は斯かる理論を今に尚有しない」シユムペーターが彼の「經濟發展の理論」中に述べたこの言は、今日の學界に對しても依然として當はまるかの如く思はれる。云ふまでもなく金融市場に關して說き、又はその作用を解明したる論著は、決してその少きを憂ひない。しかし金融市場の本質及びその作用を、その基根において捉へ、これを一の理論にまで構成したる著作は、かのシユピートホフが Schmollers Jahrbuch （a 33, 2—4, 1909）に發表したる三つの論文（註）を除いては、極めて數少しと稱へられる。

此時フランクフルトの一銀行家にして且つ夙に貨幣＝金融學界にユニークな存在を示せるアルバート・ハーン（Albert Hahn）の一論文 "Zur Theorie des Geldmarktes" は、吾人が注目するに價するであらう。此論文は嘗て Archiv für Sozialwissenschaft und Sozialpolitik (Bd.51, H 2, s.289ff) に掲載せられ、後ハーンの論文集 Geld und Kredit (Tübingen, 1924) に收錄せられたものであるが、公刊後既に十年餘の時日を經過せることは、しかしながら、決して此論文の紹介を無用たらしむるものではないと信ずる。

豫め注意をして置き度いのは、私は、ハーンの謂ふ "Geldmarkt" の語を以て、直ちに「金融市場」の語に充てやらうとするのではないことである。別言すればハーンは "Geldmarkt" を、Kapitalmarkt に對立的に考へる。卽ちハーンにおける「貨幣市場は我國で謂はれる狹義の金融市場に當り、資本市場をも含む宏義の金融市場を意味するためには、ハーンは寧ろ Kreditmarkt（信用市場）の語を用ふる。但し、これ等の語のより詳細なる概念規定は、論文の內容に依つて自ら與へられるであらう。

1) Die ältere Ordnung des Geldmarktes

2) Das Verhältnis von Kapital und Geldmarktes

3) Der Kapitalmangel in seinem Verhältnis zur Güterwelt

……◇二◇……

ハーンは先づ實際界において、貨幣市場（Geldmarkt）及び資本市場 Kapitalmarkt の兩語が、明確に區別して用ひらるゝ事實に注意する卽ち貨幣市場と指稱せられるのは日貸及び一日貸市場月末貸及び一箇月乃至三箇月の月貸市場（所謂コール市場＝筆者）並びに割引市場 privatdiskontmarkt であり、資本市場として考へらるゝは、株式及び公債市場並びに抵當貸市場である。尚銀行がその得意先との間に、信用借與の形においてなす貸付取引は公開市場的に行はるゝにあらず、從つてこの種の信用取引圈はこれを無條件に一の市場とはなし難いが、若しこれを貨幣、資本兩市場の何れかに屬せしめんとならば、これは明かに資本市場に屬せしめらるべきである。

しからば貨幣市場と資本市場との斯くの如き區別は、抑も何を標準として立てられるのであらうか？一見して看取し得る兩者の差異は、貨幣市場においては比較的短期の信用取引が行はるゝに對し、資本市場においては比較的長期の信用取引が行はるゝことである。シユピートホフの區別は略この標準に從ふものであらう。しかし兩市場の斯かる差異は、單に法的＝形式的たるに過ぎず、そこには尙それ以上の經濟的、實質的差異の存するにあらずやが問はれねばならない。

此處においてその語義に基き、貨幣市場は貨幣の取引せらるゝ市場にして、資本市場は資本の通引せらるゝ市場なりとの、稍通俗論的な解釋がある。しかし兩市場において取引の客體たるものは、共に貨幣又は購買力であり、シユムペーターの如きは、資本市場なる現象は實際に貨幣市場と稱せらるる現象と同一であり、資本市場の外に別個の貨幣市場が存在するのではないと謂ふ (Entwicklung, 2. aufl. ss. 201—2)

蓋し兩市場において共に貨幣が取引せらるゝにしても、その貨幣又は購買力は、市場の別に應じてその種類が異るであらう。而してこれに基いて兩市場はその作用を異にするが故に、兩市場を分つ適正なる標準はこの取引せられる貨幣の種類の差異に在る。依つて吾人は次の如く主張し得る。卽ち資本市場とは一種の購買力「預金貨幣」（Überweisungsgeld＝普通銀行預金」が貸付けられる市場であり、貨幣市場とは他種の購買力卽ち「中央銀行貨幣（Reichsbankgeld＝銀行券及び中央銀行預金」が貸付けられる市場であると（Hahn, Geld und Kredit, ss. 88—92)

……◇三◇……

斯くて兩市場の各の特徵は、右に述べたる本質的差異を基礎として、演繹的にこれを摘出することを得る。ハーンはこれを試みたる後、更にその結果を實際における兩市場それぞれの特徵に照合し、以て自己の理論の正しさを實證してゐるが、その要點を摘記すれば次の如くである。

A、資本市場に於ては

(一) 銀行券又は中央銀行預金の形における購買力が貸付けられるのではなくて、普通銀行預金の形におけるそれが借手の任意處分にまで提供せられる。

(二) 購買力の需要者卽ち借手としては、銀行の顧客が立ちあらはれる。

(三) 供給者としても亦銀行の顧客（卽ち預金者）が登場する。唯附加信用に就てのみ銀行自身が供給者たる役割を演ずる。

(四) 價格形成卽ち利子率の決定は、中央銀行貨幣の需要供給から全く獨立に行はれる。

B、貨幣市場に於ては

(一) 貸付けられる金額は銀行券又は中央銀行預金にて提供せられねばならぬ。何となれば此場合の借手にとつて、他の形式の購買方は用を爲さないからである。

(二) 借手としては預金債務者たる銀行のみがあらはれ、その預金を中央銀行貨幣に轉換する必要から、此市場の需要者となる

(三) 供給者卽ち借手も亦本來は中央銀行である。換言すれば中央銀行貨幣を潤澤に有する銀行が貸手となる。唯新しく創出せられる中央銀行貨幣に關してのみ、中央銀行がその供給者として登場する。

……◇四◇……

以上說くところに基いて、ハーンは貨幣市場及び資本市場に各定義を與へ、引續いて、貨幣需要の本質、貨幣需要充足とイレフラチオン、貨幣供給、貨幣市場における利子形成、ドイツ貨幣市場の近狀等に論及し以て前掲標題の論文を終つてゐる。

固より理論の內容に就ては、今一段吟味を要すると考へられる箇所も少くない。しかし貨幣市場と資本市場を短期市場と長期市場と見る表見的な區分を排し、分別の標準として取引客體たる貨幣における種類の相違を取上げ、以て二の主要部分市場――貨幣市場と資本市場――から成る廣義の金融市場の構成を、云はゞ立體的に說き示したるハーンのこの論文は、我々に示唆するところ頗る多い。敢て拙き紹介を試みる所以である。

巖松堂書店新刊
東京神田神保町二丁目
電話九段(33)四二三五　四二三六　四二三七　四二八
振替口座東京六五五五六

國家哲論
法學博士　松本重敏著
新刊　菊判布製四〇〇頁　定價二圓九十錢　送料二十二錢
多年憲法學界に在りて堅固なる操守と特異の矜持とを以て嚴たる存在を維持せらるゝ斯界の耆宿が、基礎を哲學に置きて宇宙の大扉を開き、深く之が眞理を究めて國體の眞義を表顯し併せて臣民の本務を明示せられた。又諸科學は勿論道德、宗教を涉獵してその體系に立つ獨自の國家論を樹立せられ、以て政治經濟教育等人生の根義を闡明にせられたのであり、洵に萬難の危機に當面せる我等にとりて必須の指針、人生行路の凡ゆる問題を解決したる萬書未見の要鍵である。金子堅太郎伯の絕大なる推奬また宜なしとしない・君國を思ふの士の必讀を要する所以である。

西洋法制史講義
京都帝大助教授　西本頴著
新刊　菊判布製二八〇頁　定價二圓四十錢　送料二十二錢
著者は「一の書物を以て講義となす勿れ、一の講義を以て書物となす勿れ」との法制史家の傳統的標語の下に西洋法制史學の講義案として僅々三百頁の裡に其の要を竭し、概論的に而も教科書たるの形式を以て平易に、明確に著者自身の獨創的體系に基きて法源並に諸法律關係を把握せる。緒言に方法論を掲げ、第一編に於て法制史總論たる法源史を取扱ひ、第二編に於ては我國現行法に關係深き凡ゆる制度を素材とし、淵源最も古く且つ體系の整備せる私法史を收めて、玆に西洋法制史の包攝する一切の大思想を再現すべく該法制史學の行くべき方向を決定せられた。

黎明期の經濟學　十六七八世紀の經濟及人口學說
大倉高商教授　吉田秀夫著
新刊　菊判布製四一五頁　定價三圓五十錢　送料二十二錢
社會主義或は共產主義を否定する理論としてのマルサス學說の眞價を歷史的に證明せんとした著者は第十六、七、八世紀にかける歐洲の經濟並に人口に關する學說思想一般の歷史を黎明期の經濟學として完全に把握せられた。その資料こそ滿十年に亘る著者の獻身的努力に爲る蒐集である【內容】獻辭、序言、開題（經濟學史の任務）、生と繁殖と（マアカンテイリズム、カメラリステイク）、經濟學（フイジオクラジー、古典前派）、政治算術（デモグラフイ、人口實數）、社會主義（無產貧民、英國にかけるフランス革命）、人口原理（マルサス及其先驅）、總括（根本的並に副次的結論）。

現代產業地理講話
明治大學教授　大鹽龜雄著
改版　菊判布製四一〇頁　定價三圓二十錢　送料二十二錢
現代世界の產業經濟と我國の現實情勢とを學ぶは、最近にかける世界經濟の趨勢を知り、國際外交の推移を洞察するの所以にして、寔に非常時國民としての最大急務の一に屬する。本書はその旨趣に基きて一般の理解に資せん爲め、單なる地理學的論說又は地誌の叙述に止ることなく世界產業の實勢と我國との關係並に其の將來及び國際貿易との聯關に至る迄を正確に又最近の統計に基きて興趣ある文章を以て詳述せられた。更に今般の改訂に當りては內容の殆ど全部に亘りて稿を改め、最新地圖を隨所に挿入し、卷末に統計表を附錄せられて愈々理解を容易ならしめらる。

海上保險概要
商學博士　加藤由作著
新刊　菊判布製二八四頁　定價二圓六十錢　送料十四錢
第一編に於ては海上被保險利益論を取扱はれて主なる海上被保險利益及びその價額に付きて詳論せられ、第二編以下に於いて海上危險論、海上損害論及び海上特殊保險論を試みて海上保險の全般に亘りて明快なる講述を施された。その引證該博、立論又穩健にして安當、克く批判的立場より海上保險の實際と其の理論とを融合し、あく迄も學的に之を論證せられた。尙我國海上保險取引の實際に最も緊密の影響を及ぼしたる英國法、並びに同國にかける實際を檢討して隨所に原法文、約款乃至は原書の章句を插入せられたれば、學徒の攻學上頗る至便の好著として推薦する。

景氣指數論
名古屋高商教授　郡菊之助著
新刊　菊判布製四八三頁　定價三圓八十錢　送料二十二錢
景氣觀察の權威的指導書遂に出づ！本書は嘗つて昭和二年の春公にせられた一書「物價指數論」の姉妹卷であり、夙に景氣研究に專念せらるゝ著者が凡ゆる研讃の成果を盛つて指數法の立場から經濟統計論の研究に內容と體系とを與へんとする野心的企圖の實現である。又本書は景氣の指數的研究が景氣理論に對して有する意味を檢討し其の方法論的根底を反省し、更に景氣循環指數の示せる結果を吟味すると共に、景氣年代史及び景氣豫測の問題と指數の問題との綜合的考察によつて玆に前人未踏ともいふべき「景氣測定學」の體系を編み出さんと欲した苦心の著である。

民法大綱（總則）(1)
京都帝大教授　近藤英吉著
菊判假綴一三六頁　定價九十錢　送料一四錢
大學に法律を學ぶ者の最初に負はされる課題の一に民法がある。その民法が又高等試驗にかて最も苦しまねばならない最後の科目だ。既に刊行された民法註釋書、教科書、參考書は實に夥しい數に上つて居るけれ共、未だ叙上の要求を充し眞に學生を滿足させる程のものが尠い。著者はこの點を遺憾とせられ、前著註釋日本民法を要約し教科書として民法全般に對する正確なる概念を把握せしめんと企圖せられた。尙初學者は特にその五號活字の部分のみを讀むことも出來る。

註釋日本民法（債權編總則）
田島順・伊達秋雄・柚木馨・近藤英吉著
新刊　菊判革製四八八頁　定價三圓八十錢　送料二十二錢
【下卷】本書上卷及中卷にかては柚木、近藤兩教授が逐一協議によつて稿を進められたのであつたが、本書に在つては更に伊達、田島二氏が參加せられ、前者と同樣の結構に於て各執筆者が夫々得意とせらるゝ部門を分擔し、協心一體玆に債權編總則の講述は完了せられた。債權の消滅の部分を各條の趣旨、意義或はその効力は勿論その立法精神にまで立入つて論述し我國並に獨逸大審院の判例は悉く採りて之を批評摘錄せられ、更に詳密なる索引を附錄せられたれば愈々民法典コンメンタールの實を盡す。—債權編總則（上卷）三・〇〇　同（中卷）三・八〇—

改正商法案解義
法學博士　佐々穆著
四六判上製二九〇頁　定價壹圓貳拾錢　送料拾四錢
新刊　本法案に關する注釋者は今日既に若干江湖に散見する、併し、それ等は發行の速きを向びし爲、遺憾の點尠しとせない。本書は、改正部分をゴシック活字を以つて示し、之に對する注釋を試みたるものその注釋は、著者一流の洗練せられたる筆になることゝて簡潔明快、改正の要旨は掌を指すが如くである。而して著者の商法にかける造詣に就いては、今更喋々を要しない、本書は實に此の著者によりて重きを爲すもの。世上の實務家に勿論、學者も必讀すべきなり。

會計學
大阪商科大學教授　陶山誠太郎著
菊判上製二六〇頁　定價貳圓　送料拾四錢
新刊　最近にかける經濟の異常なる發展に伴ひ、企業經濟の計算制度も著しく複雜多岐となつた會計學、とりわけその最新理論に關する十分なる理解なくしては現代企業の經營は不可能であるといつて過言ではない。本書は大阪商科大學にかける著者の講義を解放したるものであり、教授の多年の勞作に成れるものである。其の取扱へるところ極めて多方面に亘り、殊に獨米にかけるもろ〳〵の新理論を著者獨自の體系の下に組上げ、困難なる理論會計學に一大寄與を爲さんと企てたものである。それと同時に理論の實際性を高調する著者年來の立場より、要所には適切なる計算事例を示し、理論をば空理の末梢から救出してゐる。これ敢へて理論家のみならず實務家、學生諸氏に推奬する所以である。卷末の諸附錄は特に實務、學生の好參考資料たるを失はぬであらう。

陶山教授著
會計監査（總論）◇菊判紙數二三〇頁◇定價八拾錢　送料拾錢
原價計算例題集◇菊判上製紙數一五〇頁◇定價壹圓貳拾錢　送料拾四錢
經營の分析と合併に於ける諸計算◇四六判上製紙數二〇〇頁◇定價壹圓五拾錢　送料拾四錢

ロバアトソン「貨幣政策と物價」―景氣變動論―
大阪商科大學助教授　豊崎稔譯
四六判上製紙數一六〇頁　定價壹圓貳拾錢　送料八錢
新刊　景氣理論として代表的なものを擧げるとすれば、現在では貨幣的景氣理論を把りあげねばならぬ。而して貨幣的景氣理論中最も興味深きものは、ハイエク等の中立貨幣政策を主張する維納學派と、穩和なる安定政策を强調する劍橋學派との對立である。維納學派のハイエクの理論は勿論、劍橋學派の代表者ケインズの貨幣理論は夙に邦譯せられてゐるが、ケインズの協勞者であるロバアトソンの景氣理論は併り我が國では紹介せられてゐない。その原因はロバアトソンの景氣理論が小册子なるに係らず、極めて難解なる事に原因する。しかも彼の景氣理論は、現段階は景氣政策を樹立するに際しても、甚た大なる意義を有する。これ敢へてロバアトソンの本著の譯述を、新進經濟學の譯者に請うて、我が國の景氣研究家の座右に呈する所以である。

豊崎教授著　◇景氣豫測法研究◇　定價貳圓四拾錢　送料拾四錢

保險契約法論
日本大學高商學校教授　經濟學士　法學士　野崎隆幸著
菊判上製紙數四八〇頁　定價參圓五拾錢　送料拾八錢
新刊　本書は、保險の本質に關する著者獨自の見解より出發し、新時代精神に立脚して保險法の理論を闡明し、進んで各種保險の約款を解說して餘すところがない。之、從來の著書が單に保險法の法理を抽象的概括的に說明するに過ぎざるとは、大に其の趣を異にするところである。故に本書を繙くときは、保險法の原理が如何に保險契約に適用せられつゝありや保險契約が如何に保險法の原理を運用しつゝありやを知り、經濟生活の自主的安定策につき、現實に卽したる理論的知識を修得することを得る理である。隨つて本書は、獨り斯門必讀の書たるのみならず、一般世人にとりても亦一讀の要ある好著である。

大阪北區梅田新道
振替大阪三一九七二番
電話北二五七五三・一六五三番
大同書院
東京神田中央大學前
振替東京八一三三八番
電話東京二二三八番

待望の助手制度
近く具體案生るか
法文、經商教授會案も成り
當局愼重檢討に進む

待望の助手制度は學內に異常な期待を以て迎へられたが、その後何等の新しい展開も見せず全く有名無實の感があり一時は疑惑の眼で眺められて來た、しかし該問題はその重要性と必然性とによりこれまで教授會並びに學友會委員會においても毎に愼重論議の中心となつて居りその實施は待望久しきものがあり全學擧げての要望と化してゐるが、確聞するところによると先般來法文、經商兩教授會の總體的意見も具申せられ理事會にても愈々助手制度規定の決定に乘出し氣運も漸やく濃くなつて來た模樣である、併しこれは近年學內の形式的設備が着々改善せられゆくとき、それと併行して實的方面にも更に一大飛躍を試みるべきは當然で徒らに因襲姑息的な態度は斷乎排すべきである、然して何れは理事會によつて最後の斷案が下されるとしても將來の本學を脊負つて新銳教授をひそかに夢見みつゝある若き學徒に榮光ある登龍門は果して如何なる方法によつて開かれるであらうか

そもそも當制度は本學史上劃期的制度として昭和九年四月法文、經商の二部長設置制と共に發令をみたもので、一般學生よりは一大センセイションを以て迎へられその適用は全學鶴首するところであつたが、何故かその後一向具體的の運びに至らず徒らに名のみで一時は時期尙早論も擡頭してまづ大學院充實の主眼たる優秀學生選り集めの一策たる大學院特選給費制に姿を變へるに至り、その後まる一箇年を經るも實を結ばず助手制度の歸趨は竟に一抹の不安を投ずるに至つた、現に本年度劈頭の學友會委員會においても俄然再燃し、即時斷行が極力叫ばれ

學友會

の事業として種々當局と折衝する所あつた結果學校當局においても相當實施の氣運あることが窺はれ、その後の展開は注目の裡にあつたが最近に至つて法文、經商の兩學部教授會よりの希望案も夫々理事會に提出されてゐる模樣で理事會においても早晩はこれ等を多少參考として規定を練ることになる筈でありその適用も最早や時期の問題ではあるまいかと見られるまでに進展して來たやうであり漸く展開への歩みを搏どりつゝある尙當問題について具體的にいへると本學においては自己の專攻せんとする部門のみを研究する研究助手を置くこと、及び現に教授が占めてゐる課目は當然に助手として採用困難なことは勿論であるが唯問題となるのを人選の點で、之を廣く

卒業生

よりも採るか又は現在の在學生並びに大學院特選給費生のみより求めるかであつて何れより採るかは理事會の決定を待たなければ判明しないわけであるがこの陰には非常なデリケートな問題が含まれこの點當局にあつても愼重なる考慮が拂はれなければならない所であり案外豫想外のものが生れるかも知れず何れにしても助手制度問題が斯樣に展開して來たのは注目さるべきであり、それと同時に學生は一層の自覺が必要になつてくるであらう

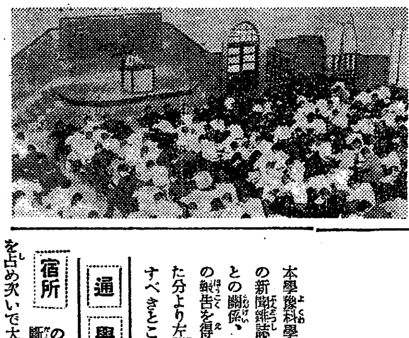
研究助手で充分
多數採用を理想
法文學部某教授談

この制度に關して法文經商の教授の意見を聞くに法文學部某教授は助手には名稱は色々附け得るが大體自己の專攻する學問を研究する研究助手と單に教授の事務方面の仕事を援ける助手の二つに分たれ得ると思はれるが自然科學の方面ならいざ知らず、精神科學方面であるから研究助手で充分に足りる、教授に事務助手を附けて自己の研究の一方便とするには餘りにも贅沢である、現在其處まで充實してゐるとも思はれない、どうも事務助手は教授の私設的なものとなり勝ちでとかく其處に不純なものが生れて行くやうに思はれる、研究助手の人選については大學院並に學部の新卒業生の中より適當な人物を採るべきで既に卒業した者や勿論就職してゐる者を引拔いてまで採る必要は斷じてない尙研究費としては何れは限られた豫算でもあり又莫大なものは到底豫想せられないからそう一人につき多額を支給する必要はなく出來る限り多人數を選擇させたいものだ、そして任期を決めて前途伸びゆく人であるなら文句はないが見込みのない人は退いて新しい人に讓るやうにしなければその發展性は認められないであらう、又助手になれば當然末は教授になると云ふやうな誤つた先入觀を排せねばならぬ、尙大學院特選給費生と助手とは勿論別個のものであり若し混同せられるやうなことがあれば助手制度の効果は全然破壞せられるやうな結果になるだらう、とにかく法文學部、經商學部それぞれ獨自の見解、意見はあるだらうが學部によつて採用規定が異るものなればそれはまづいものではなからうか、劃一的なものを欲する

將來の保障が必要
經商學部某教授談

また經商學部某教授は本學においては事務助手より研究助手を置くのが當然で人選に關しても成る可く大學院特選給費生や新卒業生より採りたいがその條件としては在學中の成績が全課目を通じて優秀なのが望ましいのであつて、そうして採つた以上は相當將來の保障をしてやるべきだしまた豫算の關係上そう多人數を選ぶ必要はない

夏季語學講座
盛會裡に終了
暑中の精勵



毎年夏季休暇を利して開催され多數好學家の好評嘖々たる本學主催第十四回夏季語學講座は本年度も同じく專門部大講堂において英語は村上喜貞、水谷揆一の兩教授獨語は板倉助教授擔當で七月十五日より八月三日まで開講された、受講者も英語は五二六名獨語四八名の多數に上り暑さにめげず終始眞摯なる態度で聽講し八月六日の修了式を以て盛會裡に閉ぢ、なほ十五日にはそれぞれ受講者に證書が授與された

關甲二商校長
小泉教授就任
附屬商業の統一

本紙既報の如く曩に引退された附屬關西甲種商業學校長垂水壽太郎翁並に關西第二商業學校長內多精一氏の後任は一時仁保學長の兼任となつてゐたがこの度豫科教授小泉幸治氏が附屬中等學校を統一する意味において兩校長を兼て任せられた、氏は明治四十一年東京帝大史學科を卒業され一時府立市岡中學校に教鞭を執られてゐたが大正元年七月關西甲種商業學校創立と同時に時の本學々長兼關甲校長故古莊一雄氏に本學豫科教授として迎へられ云はゞ創立と同時に同校に關係があり又大正四年第二商業創立に際しても同校に教諭を兼ねられた、この度創立當時より緣故深き兩校の校長として登場せられることになつたことは氏としても誠に本懷とも云へやう

小泉教授

興味ある統計は語る
豫科生の日常生活
新聞は大朝、雜誌はキング
アパートより下宿屋がよい

本學豫科學生課にあつては今年六月、全豫科生五〇〇名に對して通學に關する調査（宿所、愛讀の新聞雜誌、通學に利用する交通機關）並びに身上調査（保護者保證人の現住所、保證人と本人との關係、父母の關係、兄弟姉妹の數、學費支辨者、宗教、小遣額）を實行し全學生の九割以上の報告を得たので目下生徒主事田邊淸市教授によつて統計が作られてゐるがその中明らかになつた分より左記の項目を紹介する、數字が語る豫科生の日常生活は興味盛るゝものであり種々參考すべきところが多いと思はれる

通學に關する調査

宿所 の場所は大阪市內が斷然多く殆ど過半數を占め次いで大阪府下が多くこれも殆ど新京阪千里山沿線に多いものと見られ、續いては兵庫縣下、神戸市內、京都、奈良、滋賀となつてゐる因に左に第一豫科、第二豫科と夫々數字にて示すと（上は第一豫、下は第二豫）

	1	2
大阪市內	八三	一六七
府下	三八	九九
兵庫縣下	二〇	三四
神戸市內	九	三三
京都府	一	八
奈良縣	一	三
滋賀縣	一	一

宿所の種類 となつてもやはり自宅よりが過半數を占め次いで下宿、親戚の順となり下宿も近代流行のアパートも宿料の加減か在來の下宿屋に壓倒され食事も二食付の所が最も多い

	1	2
自宅	一〇〇	一八九
親戚	二五	五〇
アパート	七	二〇
下宿屋	一二	六三
旅館	一	〇

新聞雜誌 月極めの新聞は學生間においても依然大阪朝日がトップを占め第一豫二豫を合せて二二五名、次いで大阪毎日が一八三名で大阪時事、英文毎日、讀賣も相當ある雜誌では豫科生だけに興味本位のものが多くキング類のものが幅をきかしてゐるが一方中央公論、改造、日本評論、文藝春秋が前者にはげしく迫つてゐる、その他アサヒスポーツ、サンデー毎日、週刊朝日、アサヒカメラ、セルパン、新靑年もありエコノミストも少々讀まれてゐる

小遣額 我國學生として生命線とするところは何と云つても小遣額の多少によるのであるが果して豫科生はいくら程の小遣を父兄よりねだりまた一箇月を過し得るか、數字の上では第一豫も第二豫も全く同樣で一般的なところは十圓、それから十五圓の邊でそれより二十圓が三二名、二圓が二六名あつたが中には一圓しか支給されぬものが見受けられ、それと反對に五〇圓、四五圓も一箇月に消費する者が三名あつた

交通機關 何と云つても千里山に學生を運ぶ新京阪が拔出て居り殆ど全部が利用して居るものと見られやう、市內でも市電はスピード運賃の關係から大分省線に喰はれてゐる模樣で省線がこれに次ぎ、中にも城東線の利用者が一一二名の多數を誇つてゐる、その他の郊外電車では阪急五二名、阪神二七名南海二二名、阪和九名、大鐵九名大軌八名、舊京阪五名である

身上調査

保護者の住所 これは第一豫約二百名の分のみしか判明しないが、併し大體第二豫科にも共通するものと見られる、保護者の現住所は大阪が最も多く八九名で、これも過半數に上つてゐる、次いでお隣りの兵庫縣が三五名である、大體において關東方面は少く愛知以東では東京二名山形一名があるのみである、遠くは沖繩の一名朝鮮の五名滿洲國二名が異彩を放つてゐる

宗教 最後に變つたところで宗教を見ると眞宗が三十でトップを切り續いて淨土眞言、禪宗、日蓮の各宗で數は相平均したものである、尙キリスト教は四名でその他神道四名、金光教三名、天理教一名、黑住教一名がある

健康惡化に鑑み
保健對策を
學生課の要望

今や學內施設の充實せる今日本學は健康に最適の地千里山上にあるためか保健に對する設備もなく年一度の體格檢查も行はれず全く保健に關して等閑視され勝ちであつたが、學生の大半が煙都大阪市に住居を定めてゐる關係上病魔の侵入を防ぎ得ず從つて病氣に因る退學、休學者が絶えず學生課でもこれを頗る憂慮すべきものとして既に東京帝大等で種々の保健對策が講ぜられてゐるのに鑑み今回新しく保健對策を講ずることを望み、一般學生もこれには滿腔の贊意を表してゐる、その具體的方法としては學內に健康診斷所を設け少くとも週一回位は校醫を出張せしむることが考へられ又强制的に體格檢查を行ふことも考へられてゐる、なほ又これに關聯して豫科校舍內に今度救養室が設けられ、學內における不時の傷病者を收容する樣にし醫師も直ちに千里山より一人迎へる樣になつた

就職戰線

幸先よき扉開く
相繼ぐ求人申込
意氣軒昂の學生課

昨年の好調から本年度はやゝ落ちた如く傳へられる就職戰線は今年の新學期より新しく中谷、加藤兩學生主事の就任を見、新しいプランとして五月末までに就職希望の申告書を提出せしめ、申告者に對しては個々に面接し、就職依賴狀は全部六月中に各方面に發送し終る等大童の活躍振りであるがその結果は豫想外に奏功し最近學生課に殺到する求人推薦方の依賴狀は新口も加つて相當な數に達して居り明年度の戰線は大勝利が期待されてゐる、因に現在學生課に達してゐる申込みは南滿洲鐵道五名、大同學院學生三名、國際運輸三名、住友合資一名、三井物產船舶部一名、川崎コロムビヤ一名の外全然新しいところからは富和靖介商店一名に湯淺七左衞門商店が三、四名を求めてゐる、更に例年の如く本格的シーズンを迎ふれば安田保善、大阪市廳、神戸稅關、大阪鐵道局、東京火災等の申込みも期待されて居り何れにしても今年の就職戰線は幸先よき門出に惠まれてゐる、尙本學野球部の至寶西村投手は川崎コロムビヤ入りが確定した模樣である

獨逸精神復活の雄叫び
情熱の人 オトマアル・シユパン
維納の思出
赤羽豐治郎

から題名を書いてくるとフォルストの「たそがれの維納」を眼に浮べますが、そこでの私の生活はいまは既にひと昔のことになつてしまひました。月日の立つのは洵に早いものです。ですが、この十年の間に世界がいかに目まぐるしく廻轉しましたことか。當時、維納で接觸した自然の風光はその儘に淸く美しいでせうが、交遊した內外の人々はいまどうして居られることでせう。一九二四年の春、學窓を終ると直ちに「あこがれの維納」に渡つたのですが、始めてオトマアル・シユパン、ハンス・マイヤア或はハンス・ケルゼン等の諸教授の講義を訪ねて少しも判らず閉口したことなどを思ひ出すとおかしくもあり又それ丈け當時の眞劍さを懷しく思ひます。この地は私共の學問においては御承知の通り、カアル・メンガア、ベエーム・バウエルクやウイイザアなどが一團となつて、限界効用說を建設したところですから、いまに至るまで斯學に稀にみる **〃よき傳統〃** を殘してゐるといつて差支ありません。ハアバアトにゐるシユムペエタア、ジユネーブのミイゼス、ハバアラア、ロンドンのハイエク若くは前述のマイヤアやその弟子のあたるモルゲンシエテルン、ロオゼンシユタイン・ロオダン又はシユトリーゲル等は大體維納の正統派の人達といへるでせう。

これに對し、シユパン一派の人は少くとも、反限界說の旗色を鮮明にしてゐますが、その貢獻は現在のところ經濟理論におけるよりも、社會學乃至政治學に强く表はれてゐると思はれます。私が維納に志したのはシユパンの學風を知りたかつたためです。これは學生時代、早大の經濟學會の特殊講義で今は亡き二木保幾教授がシユパンの主著「國民經濟學の基礎」の附錄に收められてゐる、かれの就職演說を引用せられて、氏獨特の解釋を加へられたことに原因してゐます。いまでもさうですが、當時はなほ年も若く一層物事に熱し易い時代であつたのか、二木教授が口譯されるかれの浪漫主義的主張にうかされ、いち度は氏を訪ねその學說に接したくなつたのでした。併し、身邊にあつてその學說を勉強することになると、遠方で眺めてゐるやうに、うつちやらかす譯に行かず、起る疑問はこれを尋ねて解決しなければならず、多大の努力をはらつたのです。氏は確か明年あたり還曆を迎へられる年齡とおもへますが、その學問はいよいよ深まりつゝあるやうです。試みに、近年連續的に出版される氏の幾多の著書をみていたゞきたい。

〃わが國で〃 氏に比較し得べき方は、特に私共の周圍に於ては、高田保馬博士の如き人であらうか。その學に忠實なるにおいて、また勢力の絶倫なる においても。シユパンの學問もさうですが、またその心情における祖國愛――ことに氏の場合では民族愛とでもいへませうか――の熱烈なることをこゝに指摘しておきたい。現在では、氏を墺太利ナチスの理論指導者とみなす人も多いが、まだ地上にナチスの片影だにみせない當時において、氏の如く反セミスチックの言動を大膽に表示した人は少い。

思ひ起すは一九二五年五月廿日頃のことである。夏の學期における氏の特殊講義の開講があるので、いつもの通り廣いあの卅三番教室に入つて行つたところ直ちに目についたのは常と違ひ溢るゝが如き學生の數と靑葉を以て飾れる小高き教壇とであつた。何かあるなと直感した數分の後、氏が入場するや恰も凱旋將軍を迎ふるが如く、全學生は靴ふみならして敬意を表した。更に氏が登壇せられると同時に若き一ドクタアが、つかつかと足を教授の身邊に運び、一禮して次の如き挨拶を述べた。「こゝに私はわが尊敬する教授に對し維納大學の學生、獨逸學生團體カトリック靑年聯盟等々の名に於て、貴方が私共に獨逸精神の何者なるか、また獨逸學問の本質を說き、今後吾人の進むべき方向に關し、常に警世的に教示せられてゐる御努力に敬意と感謝の念を捧げる。」すると、氏はあの日本人に似た短軀に滿身これ力といふが如き態度を以て、堂々二時間に亘る雄辯をふるはれたのであつた。その要旨はなほ耳に新らしい。曰く「私は自已の專攻する **〃社會科學〃** がいかに非獨逸的學問として成立したかを概觀したい。例を經濟學にとつても、斯學がケネーに始まり、スミス、リカード、マルサスを通じてその形體を整へこれが一度ラインを渡つてこのゲルマンの國へ入つたのちも、尙且つ西ヨーロッパ的の自由主義的風格をその儘傳へてきた。その反動として、ロッシヤア、ヒルデブランド、クニース等の所謂歷史派の擡頭となつたが、經濟學の本質的なものには矢張り非獨逸的の要素が多分に混じてゐた。われらが創出したと誇る當地の限界効用說をとつてみても、その精神は西ヨーロッパの功利的・個人主義的のそれではなかつたか。この狀勢は大戰後殊に著しく、すべて諸君の知られる通りである。とはいへ、かゝるわれらの學問史において、獨逸精神に基いてその體系化に精進した人がないわけではない。かのアダム・ミユラアの如き、フリイドリッヒ・リストの如き、またフオン・チユーネンの如きその威大なものであらう。我らはこゝに誓言する。われらはこれら先哲に倣ひ、經濟學延いて凡ゆる社會科學をかゝる精神の下に、獨逸學問として建設すべき努力を拂ふことを。以上學史を通じて獨逸學の地位をみたのであるが、更にわれらの前に展開する世事一般に就てみたい。一切の業務、一切の機關は非獨逸的人種によつて獨占せられ支配せられてゐるではないか。諸君よ、改めて足下をみよ。而して諸君の鄕土を守れ!」

ウイーン大學

右の講演が終つたのち、學生の **〃熱狂〃** せる有樣を想像して下さい。現在でもその狀況が眼前に彷彿して來ます。そして、今更ながら氏の雄辯家なるに驚くと共に、威大なデアゴーゲたる素質を多分に享有してゐることに感心したのです。歸途フイヒテがナポレオンの軍隊を旌旗の間に眺めつゝ伯林大學でなした、あの有名な講演もこんな調子で行はれたのではないか、と考へてみたことでした。のち、このことを尊敬する日本からの一學友に話したところ、同樣な士氣鼓舞演說が教授ドプシユによつても行はれたといふことです。果然、五月二十五日の夕刊新聞「シユツンデ」はシユパンのこの講演をとりあげ、氏の態度を毒舌を以て責めたのです。尤もこの新聞は當時氏の論敵と目せられたユデア人の經營になつたものであることはいふまでもありません。

私の維納での思ひ出は勢ひシユパンのそれに終つて了まつて、本紙の編輯者の御希望に副はなかつたことゝ思ひますが、御許し願ひます。維納の自然や人情、或は藝術や壯麗なる宮城などについては又の機會に讓らしていたゞきたいものです（なほ、シユパンに關し詳細を知らうとせらるる方々に左の勝れたる二つの邦書をお薦めする）

岩崎卯一教授「社會學の人と文獻」

阿部源一教授「シユパン社會經濟學說體系」

講師異動

今學期より左記の如く講師の異動が發表された、因みに今回の異動は小泉教授の附屬關西甲種商業並に第二商業學校長の就任と宮野講師の辭任、村田講師の外遊及び溝江講師の逝去に伴ふものである

學部　經濟史　黑正　巖氏

豫科　日本史　福尾猛市郎氏

東洋史　藤枝　晃氏

獨逸語　上道　直夫氏

又柴田定義主事補の學生課入りによる豫科教練教官の缺員は此の度第三十七聯隊より中村虎吉氏が學生主事補兼豫科教練教官として來任された

溝江亮一郎講師

本學講師溝江亮一郎氏は本年始めより胃癌に罹られ西宮市香櫨園の自宅にて專心靜養されてゐたが遂にその効なく去る七月十七日永眠された、氏は辯護士の激務の傍ら本學にて獨逸語を擔當されその細心極まる講義振りは洵く定評があつた

秋が來た、あア秋がきた、あききがきた◆野にも來た山に來た、大學に來た◆「秋」!「秋」!◆「秋」に題して瀧澤教授、玉稿を寄せらる◆曩に、研究論集において「市」に關する考證の蘊蓄を傾けられ◆今又、その造詣を蘊くさる◆學に商業概論、雜記を講じ更に該博なる餘才、燦たり◆關大至寶の一ツ◆秋が來た、あアきがきた、冷藏庫にも來た◆蜷川先生、靈妙神技の「冷藏庫」を本紙に給はる◆億兆の數字を羅列して天眼見通し◆平素、文筆を擱きて統計に心專らなる先生として◆この玉稿、正に天下の珍寶◆氷刀、火を吐き白刃、熱を生す◆千里娘子、アンモニヤと鹽とに化合せられむとす◆大師先生、才筆縱橫・五輪跳躍す◆大師が、デユアメルか、デユアメルが大師か◆聰明にしてユモレスク◆皇紀二千六百年、思想オリンピック、月桂を冠する者、大師か一か◆オリンピックに盛名を馳せた日本內地に靑年の保健、益々劣る◆何等の皮肉、神のいたづら◆怠學、保健に對策を練る、遲からずと雖、早からず、慶賀々々◆豫科生活もピンからキリ迄◆一箇月の小遣並五十兩に到つては、既に學生の將を逸す、不慶賀々々々◆求人申込、頻に到る◆秋の聲價は多々益々、司學の自重を促す勉所突◆野球は洋を超ねてその名聲を大空に馳せ、將にその意氣を揮つて六大學に制覇を期し◆庭球倉光病軀を提げて健鬪、その眞價を博す◆漕艇、水泳、更に精進を期し◆スポーツ陣、六、擧げて、今秋の鬪業に猛進、夏季合宿の奏効は唯これから◆頑張れ!◆戰線にかゝやく秋や天高し。

皆樣の教科書
及び
法律・經濟・商業
參考書は

關西大學指定
野島書店へ

プリント印刷の御用は
關西堂へ

大阪市東淀川區長柄關西大學前
電話堀川2177番

關西大學
學報
研究論集
會員名簿
指定印刷所

印刷と帳簿は

本店　合名會社　谷口印刷所
大阪市北區堂島上三丁目
電話北 [illegible]

分工場　大阪市東區谷町三丁目
電話東六二一二

國家試驗
定價六拾錢
送料金二錢
昭和十一年九月十五日
第八卷 第拾八號

一、主要判例集 刑法の部……法學博士 大原[illegible]
一、大日本帝國憲法理由……法學博士 尾佐竹 猛
一、判決における實質的確定力の本質……判事 野間 繁
一、普文問題解答集……大里 吉雄
一、高文夜話——試驗と人生……南城樓主人
——普通試驗答案練習問題——
一、刑法
一、刑事訴訟法……東京刑事地方裁判所判事 坂本 英雄
一、憲法……東京民事地方裁判所判事 野間 繁
一、民法
一、商法
一、民事訴訟法
——試驗時報——
一、高等試驗外交科口述試驗公告

東京市本郷區森川町上一番地（帝大正門前）
育成洞
電話小石川(85)七六一番
振替東京一七三三四番

學生評論
九・十月合併號（三十錢）
近代日本教育制度の變遷……武井 德郎
女性教育の問題……戸坂 潤
學生の望む學生改革案
海外大學情報
(1)[illegible]カルピンスキーの死
(2)コロンビア大學に一騷動起るか?
(3)國家教育協會・學の自由を叫ぶ
スポーツ時評・オリンピック
夏休みの體驗を語る
學內行政批判
花形教授列傳(1)
創作 荷を挽く馬……加賀耽二
新刊紹介
表紙・カット……弁澤元一

近づく大學祭！

プロローグの展開

品位の向上を目指して大改革

本年も學長の記念放送

本學の年中行事の最高峰にあり市民との融和の點において既に定評ある學友會主催の大學祭も昨年既に十回を數へて一の型にはまつた嫌ひがあり本年は種々新機軸を出さんと今春創立五十周年記念祭が終るや直にその準備工作に內々裡に取掛り一時氣遣はれた中止問題も無事解決して素志貫徹に邁進例年の盛大さに更に新鮮味を盛るべく新學期が始まるや準備も本格的となり去る十四日午後六時よりの三部合同代表者會において既に各催物への金額配當及び學校當局の役員も決定し專門部委員との打合せも終り續いて十七日の學部及び專門部一部二部との三部合同主任會議も開かれ全く**準備工作**を終へた、尙大學祭は例年より一日遲れ十八日（日曜）に擧行せられるが十七日の佳日には午後六時より恒例の學術講演會が中之島中央公會堂で開催され委員長には例年通り講演部々長岩崎敎授がこれに當り講演者の顏振れは未定である、又昨年始めて大學祭の序曲として且つ本學の名聲を普く全國に知悉せしむる意味においてBKを通じて全國に放送された學長の講演も再び行はれることとなり十六日夕刻には同じくBKを通じ全國中繼で演題は未定であるが現下各國に流行してゐる專制政治は果して妥當なりやを論究せられ王道政治と**專制政治**につき、また公民道德にも及ばれることになつてゐる。以上の如く大學祭の序曲が奏でられていよいよ十八日には千里が丘は全學を擧げての式典にわきかへることゝなつた

尙展覽會は五十周年祭同樣今春竣工した豫科校舍の十四の敎室を開放して會場に充て威德館では音樂演劇の催物、馬場では日本學生馬術界に名のある馬術部の熟練者たちが年に一度の公開に高等馬術の粹を見せ、一方運動場では江馬務豐岡佐一郎兩氏指導の風俗行列、名物土人踊りに觀衆を魅了し又運動術技では陸の王者關大の姿を見せ空には航空聯盟部員の操縱する訪校飛行を行ひ精彩を添へる、かくて賑々しく行はれる反面從來**兎角非難**の的であつた露店の暴利と押賣を徹底的に取締ることになり五十年祭の好成績にかんがみ品質の統一に力をそゝぎ豫科學部兩校舍前の廣場に三棟づゝの天幕を建てて正門の一隅に食劵賣場を限定して他處では絕對賣付けることを禁ずる模樣である、更に改革された點を擧ぐれば從來執行本部とあるを學友會主體の立場より總務部と名稱を改め、その他式典係、場內整理係、救護係などに夫々改稱し大體に今度の大學祭の特徵は內容外觀共に新鮮味が窺はれ品位の向上をモットーとするものである

秩父丸に於ける本學チーム

愈々來月三日に 開館式を擧行

待望の學友會館

本學學友會が、近年スポーツ界に文化事業に偉大なる躍進を遂げ世界的水準を歩みつゝあるにも拘らず本學には未だ各部の融和親睦を計る建物すらなかりしため今春豫科校舍の建築落成に伴ひ豫科假校舍を改築してこゝに我等待望の學友會館が竣成され愈々今月中に使用各部の移轉を待つて來月三日午後二時半より會館內會議室にて華々しく開館式を擧行する運びとなつた、式は學長を始め理事、幹事、敎職員、學友會各部長、學友會委員並に本年卒業生で會館建設に盡力したもの及び學友會各部並に會館を使用する各部代表らが出席して神祓式を行ふ豫定である尙會館の趣旨により總て質素を旨とし、式場も各部獲得の優勝旗カップ及び萬國旗などで飾るに止め式後一般學生に公開する筈である

なほ會館の使用規定は既に前學期に交付された學友會名簿に記載された通りであるが大體二時半より使用を許可し必要によつては正午より許可される豫定である、然して前記の趣旨に副ひ隨つてなるべく事務を取る程度に止め靜肅を旨とする希望してゐる

使用規定（追加の分）

名簿に記載されてゐない追加規定は去る八月發表された

◇第一條　第四項、管理委員會の決議は出席委員の過半數を以て決し缺席委員は委任狀を以て出席に代ることを得

第四項を第五項に

◇第八條　「使用前日」を使用前々日と改む

射擊部主催

中等大會迫る

恒例の射擊部主催第十回全國中等學校射擊大會は來る十月四日午前九時より大阪城南射擊場において開催されるが昨年及一昨年の兩度に亙り畏くも東久邇師團長宮殿下の台臨の光榮に浴して以來今や大會は射擊部のみの行事で無く本學行事の一として注目されるに至つた今年は今井師團長を名譽顧問として參加校三十數校に上る豫定で以下例年通りである、尙同部の夏期合宿練習は九月一日より七日迄和歌山市關戶で中村首將以下部員十八名參加した

夏季遊說に

意氣揚る講演部

今春豫科生徒の便宜を計るため古本賣買の斡旋をなして好評を得るなど種々新機軸をなし意氣揚る千里山講演部は去る七月十一日夏季遊說隊を組織、部長岩崎敎授を始め部員七名は〃日本國家の立場より見たる外交、社會敎育、經濟問題〃なる論題を揭げ大阪を出發山陽山陰北陸の旅に出で、途中福山市に第一聲を擧げ萩市、鳥取市に氣勢を擧げ續いて高岡、高山に臨む每に聽衆堂に溢れ成功裡に同月二十二日歸阪した

凱袖一觸

倉光の再制覇

ジャバの期待を復す

◇全關西庭球選手權大會◇

我が庭球部の至寶倉光は昨秋全日本學生庭球選手權大會に見事粹る强豪を退けて優勝榮あるタイトルを獲得し續いて全關西選手權大會にも制覇を遂げ、兎角不振の我が庭球部に不滅の光を添へ名實共に關西庭球界のNO1として昨年度全日本學生ランキングにも僚友藤井と共にダブルスには第一位にランクされて以來貫祿も具はり今夏のジャバ遠征には非常な期待を掛けられてゐたが不幸病魔に犯されファンの失望するところ大なるものがあつた、併し去る八月下旬歸國以來病も癒えて元氣回復し全日本學生選手權大會には未だ出場出來なかつたが次の全日本庭球協會關西支部主催全關西庭球選手權大會には僚友廣瀨奧村OB戎等に誘られて參加しシングルスでは悠悠名に恥ぢざる堂々たるプレーに終始し敵を輕く弄し去り決勝戰にも關學の新鋭で鬪將佐藤俵、平井を食ひ番狂せを演じ橫田をも完封してその餘勢を以て肉迫するダークホース龍田と對戰したが彼の鮮やかなネットプレーは難なく6—0 6—3 6—2とストレートで簡單に却け優勝して片鱗を見せジャバ遠征の失望の幾分かを取返し得たのであつた、尙ダブルスでは倉光は藤井不出場のためOB戎と組んで善戰よく決勝に殘つたが關西庭球界に名コンビを謳はれる甲子園クの上原、堀越組と相見ひ流石の强豪倉光も午前のシングルス決勝戰の疲勞に依りサービスに威力なく戎の好調も如何ともし難く第二セットを得たのみで上原、堀越組に名を成さしめるを餘儀なくされたのである、倉光選手の今後一層の自重を祈り精進を重ねてテニスマン最大目標たるデ杯選手に選ばしめ歐洲の檜舞臺に我が庭球部の名が燦と輝く日の一日も早く實現せんことを願ふものである好漢倉光の前途よ幸あれ！

ジャバ遠征を省みて

倉光選手は語る

ジャバ日本人倶樂部の招聘で日本山岸君と二人で庭球界を代表してジャバ遠征に旅立つことになり六月二十日出發の日には、多數の學友諸兄のお見送りをうけましたことを深く感謝します、スラバヤまで二週間サラバン丸艦中は娛樂機關に乏しく退屈もしましたが到着の日はさすがに緊張を覺え上陸の際は多くの邦人の出迎へで一々挨拶を受け社交に馴れぬ私は只眞赤になるのみでした先づ第一に驚いたことは眞黑な土人の人夫の多いことでした七月十四日から三日間當地で全スラバヤと對抗エキジビジヨンを行ひこれといふ强選手居らず吾々二人は勝放して在留同胞にも喜んで頂き續いてバタビヤでも試合をしましたが前同樣敵するものなく在留日本人は勿論外人といはず吾々學生スポーツの熱誠に絕えず拍手をうけました、この二箇所の試合を濟ませてから私は不幸病氣に罹れ途中から止むを得ず一人で歸國しなければならなくなりましたが……テニス以外に感じたことは遠征前に想像してゐたよりも彼地は開拓され如何なる山中でも立派な道路が敷かれて居り、ゴム、煙草、珈琲等が栽培されて居るのを見れば如何にオランダが此所を重要視してゐるかが伺はれます、又土人が日本人を神の如く尊敬し日本製品も白人土人を問はず愛用されてゐるのを見ては最近我國と種々な問題が起るのも無理からぬことかも知れぬと心ひそかに思ひました云々

ジャバに於ける倉光選手のプレー

輝く戰跡

堂々布哇を席捲

攻守に光る西村投手

◇二十二戰二十勝二敗◇

布哇在留同胞の熱狂的歡迎裡に（昭和八年以來二度目）本學遠征軍は部長河村宣介敎授引率のもとに六月十八日ホノルル、到着、二日に一試合のスケジュールで布哇リーグオーフア郡部の各チームと轉戰し期待された如く「關大强し」を一試合每にはつきりと印象づけた全試合二十二戰中（稻若、岡本兩投手の完投もあつたが）に活躍し馬哇遠征には四戰四勝計四十一の三振を記錄し殊に七月十五日のワイアル日本人全星軍との對戰には**西村投手の鐵腕**は益々冴に十六の三振をスコアし（西村投手自身も好調以上のピッチングであつたと）布哇野球界稀有のゲームとしてファンを驚嘆せしめた布哇每日新聞がニュースに……しかし乍ら關大軍の實力は大體においてハワイ一流チームに比して斷じて遜色なく殊に西村投手の實力は關西隨一否東都一流チームの投手に決して優るとも劣らぬ老熟せる手腕の持主で布哇において十九試合十七勝二敗の成績は西村君に負ふ所大である。要するに關大軍の實力はその終始一貫せる**鍛練**の賜であると信ず…斯の如く批評せしめた理由は日頃の撓まざる猛練習に依るとは云へ今春未曾有のチーム變動に對する西村主將の淚ぐましき最後のシーズンを飾る頑張リズムに依るのである連日グラウンドに快戰を演じた各ナインは寸暇を各地の歡迎に答へつゝ、布哇を去るに臨み西村主將は「マウイ島、まま憂い島とは誰が言ひそめしぞ、こゝにも樂しき夢あるものを」を同地のニュースに寄せ歡待に報いた結局二十二戰二十勝二敗（九割九厘）の見事なる成績で第一回の遠征は勿論東都諸大學チーム及び巨人軍にして獲得し得なかつた勝率を土產として八月十日淺間丸にて無事歸神した

好成績に滿足

東京オリンピックに期待

河村（宣）部長談

出發に際して、各方面の絕大なる御聲援と御見送を感謝します終始平穩な航海で向うでは總領事館、體育關係一般在留民等非常なる歡迎攻めに合つたことは嬉しく思つた、布哇の野球は歷史も古く技倆體格ともに內地大學チームよりは數段勝つてゐる樣に思つた、それにグラウンドのコンヂシヨンも惡く其上ルールも稍々異り例へばストライクの範圍が廣かつたりなどして最初は困つた、その上航海の疲れでボールシチーの第一戰には殘念にも敗れた然し其後次第に調子を取戾し滯在四十數日間に二十勝二敗といふ好成績を獲得した、この成績は布哇への外來チームとしては全くのレコード破りでスポーツ關大の名聲を充分に擧げ得た事はまことに自分としても滿足に思つてゐる、唯遺憾な事は關西六大學の野球レベルが東京六大學のそれに比して比較的低い爲めに在留邦人は勿論一般野球ファンに認識されて居らず關大の地位を說明するのに全く大童であつた事である今後は本學のみの遠征でなく關西における他の諸大學チームの何れもが續々遠征をなし得る樣今後の精進を切望する、最後に我部員一同は來るべき秋のシーズンは勿論この元氣で四年後に東京にひらかるべきオリムピックには是非出場したいと今から覺悟してゐる次第である

K.B.B.L

關西六大學リーグ戰

對關學戰に 6—1 岡本完投す

全日本大學野球界投手の五指數の優位を占める本學西村投手も愈々今秋シーズンを最後として、KWANSAIのユニホームを脫ぐこととなり想出のハワイ遠征を終り專心リーグ戰と東都大學との對戰に全勝を記錄す可く十二日西京極における關西六大學リーグ戰に臨んだ

今夏も立大、京大、同大等の各大學は東都大學と戈を交へしも相變らず不甲斐無き敗戰に終り、殊に立大は今春より實力低下し岡山、雪本の二投手も全くの不調、加ふるに打擊不振は早くも神戶商大の爲め一敗を印し、又京大は昨年最下位の神戶商大に決勝を奪はれるなど本學以下の五大學の順位は昨秋と全く異るに至るであらう

本學對關學大との一戰は去る十九日西京極で午後零時廿五分より本學の先攻で開始されたこの日マウンドを踏んだ岡本（春季リーグ對同大戰にも三インニングを投ぐ）は八本の安打を許せしも散發に終らしめ見事なピッチングで七回のピンチを切拔け完投した又無失の守備に攻擊に門脇をノックアウトし6—1で快勝す、同二回戰は本日（廿二日）午後二時四十五分開始された（午後三時記）

明日大鐵球場で門鐵、滿洲奉天倶とダブルヘッダーで對戰の豫定、尙來る廿六、七の兩日西京極で神戶商大と對戰するが立大に一勝し今秋張切つてゐる商大が如何に本學に肉迫するかゞ見ものである

留守軍の活躍

七たび連覇成るか？

第十七回全關西學生陸上對抗

今夏ベルリンに開催された第十一回オリムピック大會には本學陸上陣より福田、谷口、戶上の三選手並にOB大島、長尾を加へて五選手を送り世界にその名聲を馳す可く全日本の絕大なる期待裡にその吉報は待たれたが不幸槍投の長尾が病魔に不出場を餘儀なくされ我等のホープ戶上は緖戰上位の三段跳を捨て走幅跳に出場、難なく豫選をパスし大いに期待されたが決勝にはファウルを重ね遂に恨を飲む結果となつた、新進の彼に對する期待が大きかつただけに彼の敗戰は惜まれる、しかし短距離の谷口、障碍の福田は列國の强豪に伍して實力を遺憾なく發揮特に谷口は二百米、四百米繼走に日本タイ記錄を出して奮鬪大いに務めたが實力の差は如何ともし難く寧ろ彼の淚ぐましき奮鬪こそ同情に價するものがあつた、唯僅かに大島は全日本陸上軍の首將の重任を帶び乍らも我が特技三段跳に田島原田を援けて出場奮鬪よく六等に入賞し覇權死守に死力を盡したのは偉とす可きであつた、尙これ等本學陸上陣の鬪將の歸朝も待たず愈々來る廿二、三日の兩日南甲子園原頭に第十七回關西學生陸上對抗選手權大會が開かれるが連年の好敵手京大は昨年のメンバーより田島原田の超弩級を始め松野千田の宿將を送り孤城落月の感あり僅に短距離に榎本あるのみで他は ど問題なく本學オリンピック出場選手なき一抹の淋しさがあるが留守軍に八百米に小西首將、百米 川手、走高跳に近藤、一萬米に 下、萬能の小椋等あり本學の七回連覇は動かぬものと見られてゐる

お祭りの秋

千里雀

投稿歡迎、氏名明記のこと、原稿返還せず

當世流行の幾年振りといふ酷暑より免れて、切望の秋を漸くにして捉へた。紙一重の差といふべく涼味に微笑みつゝ昨日の暑さ何處へ行つたといふような顏をして、あの暑かつたのは去年だつたかな、いや確五六年前だつたらうなと、甚だ自惚れた勝手な言葉を氣候樣に向つて申して濟まして居る。其處に又秋らしさを覺へるのかも知れない。

天高うして馬肥ゆ。燈火親しむべし。の如き文句にはまだまだ早い。漸くにしてあの暑さで殺されさうだつたつらい思ひを忘れたばかりなのに、直ぐに古諺で引緊めようとしたつて無理だ。だがこの涼しさ加減じや、もう寒い冬が目の前にちらつく。そのもつと手前に大學祭が控へて居るその意義を云々するのが野暮、各人各樣の御意見ある筈。要は歲月に至極鈍感な人間にもう少し〃光陰箭の如き〃を把握せしめんとの試み。

既にこの春、五十周年記念祝典を持ち、春秋二回のお祭り騷ぎ。何の故あつてか、多くの時間と金と人間を費すのかゞ再認識の問題。學校當局からは溫古知新とか、關大萬々歲を祝してとか、申し出されるところ正にしかり。その實力發揮、價値增加のためには何ぞ出し惜しみするところあらん。金と時間は要る時使へ、平易にして賢明の言。學生としてはそれに欣然參加すれば足り、神佛、信徒にお祝ひしてくれと、何ぞ命ぜん、その盛大を期して學生の自發的援助こそ望ましい。

二回もの祝祭を一つ年度に二年の進步あるべきは自明の理であらなければ馬鹿らしい話だ。不生產的なことは非常時日本に禁物。初秋の風にふれなば、暑さに弛み體、どんな惑の鈍い人でも物のあはれ位は知るらしい。そのはれこそ、お祭りの動機である。大學祭を謳歌せんと欲せば、先收穫の喜びを目指して精進が必ではないか。（顧珍漢生）

惜しや（三百米混繼泳）の失格

遂に入選を逸す

◇關西水泳豫選大會◇

第十回全關西學生水上競技大會兼全國學生水上關西豫選は十二、三兩日寶塚プールにおいて擧行されたが本學は武運拙く當然豫選に入る可き試合を惜しくも逸した、即ち初陣高松高商の自由形における强豪振りは如何ともし難く彼の優勝は當然の結果と云へやうが然し僅少の差を以て同大、關學に次いで四位に甘んじ無ければならなかつたことは不幸有井のフライングによる三百米混繼泳の失格によることを惜んで止まぬ、しかし兎角陸上關大に比し餘りにも不調だつた水上關大が今回の關西豫選によつて幾分我々に矚目さるゝに到つたことは何はさておき喜びの一つであるが愈々四年後に控へる東京オリムピックには我水上關大を日本を背負つて立つ者の出現が望ましく且つ當然輩出す可きでそれに付いて水上關大のために學內におけるプール新設が水上競技の性質より視て至當であり、當然當局の急務の一であると思ふが願はくば水上競技部は今回の失敗に省み今後の猛奮を切に乞ふ尙本學の入賞者は左記の通り

【五十米】3吉田【八百米】3卜野【二百米】3服部【百米背泳】1中西1分15秒3 山田【八百米リレー】一着本校【總得點】高松高商78 2同大55 3關學54 4本學50

純喫茶

靜かに一刻を過せる

ガーデン

千里山花壇內

卓球部

大齒クラブに勝つ

第三回大阪齒科醫專クラブ對本學クラブ交歡卓球定期戰は七月五日午後一時より大阪勝山通武川卓球會館において擧行され左の通りの成績を以て本學の優勝となる

第一回戰　本學　7—4　大齒

第二回戰　本學　10—3　大齒

尙卓球部主催卓球タイムス社後援に依る第一回關西中等學校卓球大會は去る六月二十一日千里山學舍において擧行され參加校二十一校に上り第一回としては非常な盛況であつたが結局遠來高知城東の制覇成らず神戶青年 榮の優勝するところとなつた

覇權に邁進

籠球部

今春東都遠征に隱忍一年の苦鬪を報いられ對慶應定期戰に連勝し見事雪辱を遂げた籠球部は以來元氣旺盛、夏期合宿を終へて愈々學生籠球聯盟秋季リーグ戰に出場多年の望みを達せんと久岡主將以下全員張切つてゐる、尙スケジュールは

九月十九、廿日　對京都帝大

廿六、七日　對神戶高商

十月十、十一日　對甲南高校

廿四、五日　對浪速高校

十一月七、八日　對關西學院

北アルプス征破

山岳部

我が山岳部は山岳界において數年來著しい足跡を殘して名聲頓に揚りつゝある山岳部も顧問村田講師の逝去などにより今夏の山岳部も自然淋しく僅に北アルプス征破を決行したのみである

參加人員　八田文雄、小川房 水津泉八郎、人夫丸山

執筆者紹介

第一面

森川太郎氏　本學專門部敎授「 行論」擔當

和田豐二氏　本學專門部敎授「 學通論」擔當

末廣重雄氏　京大名譽敎授、本 講師

第二面

赤羽豐次郎氏　本學專門部敎 「農業政策」擔當

第四面

田邊滿市氏　本學豫科敎授「英 學」擔當

大坪一氏　大阪商大敎授、本學 師「佛語」擔當

瀧谷善子雄氏　本學經商學部敎 「商學概論」擔當

蜷川虎三氏　京大助敎授、本學 師、「統計學」擔當

傷と化粧の常備藥

ペルメル

樂しいハイキングのお準備に

一にお辨當

二にペルメル

たゞそれだけあれば全くOK！

そして秋の野山は斷然ペルメル愛用者のはんらんです。

主効

傷一切　すりむき　くじき　打ち身　痔　靴ずれ　水虫　頭痛　[illegible]　化粧下

旅行、スポーツ
遠足、運動會
必携の常備藥

定價 ¥.20 .30 .40 1.00

PEL-MEL

ペルメル

東京

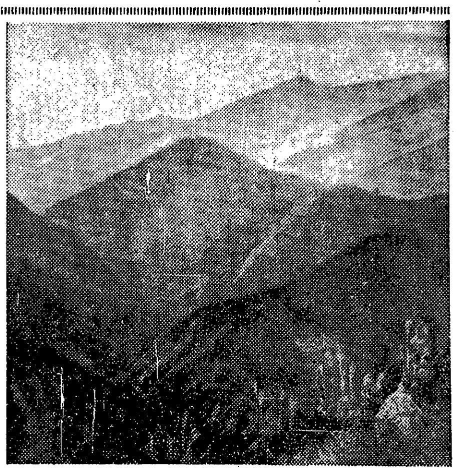
特許・常備藥

山だよ！野だよ！
みんなペルメルもつて
ホーイホイ
PEL-MEL
ペルメル
特許常備藥

學藝欄

阿蘇の秋路

田邊淸市



今は人口二十萬に垂んとする、その昔の細川氏五十四萬石の城下町熊本。こゝばかりは近代資本主義文明に毒せられることが尠い森の都である。ラフカディオ・ヘルン、夏目漱石、厨川白村らが次々と若き學徒を相手の暮しをしてゐた傍ら、彼等が詩藻を豐かにしてゐたころは言ふまでもないが、大正の殆ど末期近くまで上水道もなければ、電車もない、政爭激しといふことを除けば、誠に靜寂の田舍町である。熊本城は、東の方遙か大阿蘇の噴煙を眺むる處京町臺に加藤神社と隣して今なほ昔ながらの姿を見せてゐる。第五師團司令部の置かれてゐる處である。この城下を東へ、町はづれの立田口よりは宮地鐵道と、そして大阿蘇に源を持つ白川と、略々平行して道路が田畑の中を縫うてゐる。「老杉挾路無他樹、缺處時々看阿蘇」と賴山陽の詠じた街道が即ち是れ。熊本より阿蘇山の麓立野までは大凡六里、昔の宿場と言はれる大津町——宮地線肥後大津驛のある處——を持つ、稀に見る老杉の並木路である。今は風致地區に指定され、天然記念物は護法に守られてゐることだらう。細川氏參覲交代の街道であつたといふ。立野谷にて阿蘇の南麓に發した白川は、北麓に發した黒川の水を合してゐる數鹿流瀧は立野より僅か上の方、黒川に懸つてゐる。立野よりは、路に漸く傾斜度を增して東南と東北に分岐し、大阿蘇と外輪山の間を曲折して一は宮崎縣に他は大分縣に出てゐる。

「肥人の語に曰く、大阪に坂なく、坂梨（無）—筆者註、阿蘇郡宮地町の東南の地名—に坂あり坂梨峠を下れば一望平原なり、是れ所謂阿蘇谷とす。阿蘇山の山脈は阿蘇谷を中分して二となす。その南にあるを南鄕谷といひその北にあるを宮地谷といふ余が經過したるところのものはこの宮地谷なり。平原窮つて嶺となる。これを立野嶺と爲す。……既に蘇山の煙火に飽けり。何となれば半日の行程その麓を廻りたればなり。立野嶺は阿蘇谷の口にあり、車を驅つて爰に來れば、恰も籠を出でたるの野獸の如く、轉たその眼界の快闊なるに躍らずんばあらず、試みに嶺上より望めば黄茶青褐天に連りて、熊城は遙かに春色淡靄の中にあり。」（德富蘇峰「阿蘇の煙」）

これは豐後路より熊本入りの路程の叙景である

阿蘇山は外輪山と共に殆ど灌木乃至は草原に包まれてゐる、誠に自然の一大牧場である。霧島躑躅の緋色に染め出された晩春より夏秋への候、この地へ足を運ぶ者は此處彼處に放たれて自由に牧草を噛む馬の姿を見るであらう。中には鹿の如、輕やかな足取で嬉戲する仔馬を伴れたのもあるであらう日清、日露の兩役に、さては日頃の調練に、御國のために目覺ましい働きをして呉れる軍馬の中にはこの大阿蘇の牧草地に生育したのが澤山あらう。南部馬に對して肥後馬の名を今日も尚保持してゐる又此地方に旅して牛肉がなくて馬肉にスルメ筋の過度の運動を經驗した人の尠くないのもこれがためである。平素は靜かに白い煙を吐いてゐる阿蘇山が、一度荒れて來る眞黑いヨナ（火山灰）を盛んに降らす、ヨナの澤山かゝつた草を食んで斃死する馬の多いのも此處特有の現象であらう。

二百十日も過ぎて彼岸が近くなる、今年ばかりは殘炎に人皆喘いではゐるが、漸く湯の町が懷しく想ひ出されて來るころである。阿蘇山の鳴動を聞きながら——夜ならば火柱も見られたであらう——出岡の圭さんと碌さんとが湯の效目を話して氣持よく浸つてゐた溫泉、婆さんが這入つて來たのに驚いて圭さんと碌さんが湯槽から飛び出たといふ溫泉（漱石作「二百十日」參照）のあるは正しく阿蘇郡宮地町である。東南には根子岳が聳立してゐる。官幣大社阿蘇神社のある所である。曾我兄弟の名と共に人口に膾炙せる富士の裾野のマキ狩は、日本では阿蘇山麓で行はれたのがはじまりであるといふ元々支那より來たものであると聞かされてゐる。マキ狩の軸物は阿蘇[illegible]家に寶藏されてゐる

阿蘇は誠に雄大である、四時に渉つて、國立公園の貫禄を十分に具へてゐる。山中といはず、山麓といはず、周圍部に至るまで隨所に溫泉のあるのは何よりも有難い杖立、山鹿、內牧、戶下、栃木、數へあげれば限りがない。白川の溪流に臨んだ天然の岩間より噴出する湯を取り入れた栃木の溫泉は、あらゆる點より見て、この地方の溫泉中第一位を占むるものといつてよからう、紅葉した栃木溫泉は殊に良い。此處も亦阿蘇山への登山口の一となつてゐる。けれども「二百十日」の圭さん碌さんが登り初めたが山頂を極め得なかつた時のコースと同樣に、登りには仲々骨の折れるコースである私の記憶は十數年昔のものだ、その後の此處らの樣子は隨分と變化したらうか。立野驛よりは南へ、高森の方へ、外輪山を打貫いて走る鐵道がつけられて、白川には稀に見る壯大なる鐵橋が架けられたと聞いて幾年經つたことだらう。けれども「靄々と百年の不平を限りなき碧空に吐き出してゐる」（漱石作「二百十日」）阿蘇と、溫く噴き出でゝ、心地よく肩を打つて呉れる溫泉とは、地殼の冷却せざる限り、地殼に大變動の起らざる限り私を迎へて呉れるであらう。

「阿蘇の山里秋更けて、眺め淋しき夕まぐれ……」（孝女白菊の歌）子供のころ口誦んだことのある歌の調べと共に、私の心は秋の阿蘇路を限りなく採りゆくのである。（二五九六・九・一七）

秋に題す

瀧澤喜子雄

一

盛夏土用入りして三日目、所謂土用三郎には既に秋風が吹くとは古來云爲されて居るが、そのころの蒸し返す油照りの日の合間にも時折どこともなしに、秋らしい陽の色、風のそよぎを感ずることがある。人こそ知らぬ、樣々な風物の上に秋が忍び寄つて來て居るのである。流行に立秋節近くなると氣世話しく明け暮れて居る人達にも、郊外に一足踏み出せば、その處には赤蜻蛉が飛び交ふのが月に映じ、急に落ち葉が多くなるのが目に立ち、日暮しの泣き聲さへも耳にするやうになる。

夏の炎暑と鬪ひ、これを克服して來た人達には、一しほ秋の訪れは嬉しいものである、差詰め吾々學徒に取つては、暑さや蚊に惱まされずして、一筋に秋の長夜を燈火に親しみ、書見し、思索し得ることはこの上なき幸福である。農家に取つては收穫の悅びがあり漁村の人達や獵人等に取つても漁獲の悅びが控へて居る、工人や又殊に商人に取つては秋は腕に撚りして活躍し儲得する時である。

二

新秋に際しそれに因んで清爽な記事を提供することは、本紙のやうな全く非營利的な大學新聞としての別個な使命を有してゐるものではあつてもそれがヂャーナリズムの領域內にあるからには、それは必要なことである。しかして又これに應へた記事は隨所に見出されて讀者の目を喜ばすことであらうそれで茲には、凡そさうしたことと縁遠い全くニュースヴァリューのない、黴臭いことを書き綴つて見ることにする

秋と云ふ言葉に吾々に非常に懐しい感じを持たせる。が今茲でその語感と云つたことについて分拆を試みやうと云ふのではない。たゞ秋と云ふ言葉の語源的考察を許された紙面の範圍內において、少しく試みやうと云ふのである。

「ナツ」—夏と云ふ言葉が支那より輸入語としての臭味を濃厚に有つて居るに對して「アキ」—秋と云ふ言葉は原始國語としての香を漂はして居る。「アキ」—秋と云ふ言葉は文獻的には、古いものゝ到るところに見出されるに對し「ナツ」—夏と云ふ言葉は、古事記丈けに就いて云へば「夏高津月神」、「夏之賣神」として神名に、一箇所（古事記上卷四九段）出て居るが斯る神名か書紀には記載されて居ない。國語國文の權威者の間にも、此の神名を記載された古事記の部分は後世附會されたものであらうとさへ云はれて居る。いづれにしても、夏と云ふ言葉が國語として發生したのは、秋と云ふ言葉より遙かに後だと云ふことが出來る。何れの民族又は種族においても、その原始生活は極めて簡易單調なものであつたのだからそこには必ず「厭き」又は「飽き」を感ずる一面に、生活形態を異にする他民族又は種族と接觸する場合、相互に非常に好奇心をそゝりそれが發展して相互に、その精神的及物質的方面における「厭き」又は「飽き」を解消することに役立つ、即ち好奇心は遂に人文的にも物質的にも交通を生ぜしめずにはおかない。

此の「厭きる」と云ふ原始的な心理現象に對し、これを表現する言葉も比較的早くに發生したとして別段不思議はない。同一樣の事柄が相當時間的に長く存在すると云ふこと、同一樣の物が一時的に多く存在することゝは「厭き」を生ぜしめる場合の多くをなす。收穫の季節、所謂出來秋、作得された物資が豐富過剩に存在し、それに依り、飽滿煩惱する季節の名に「アキ」—秋と云ふ言葉が生ずることは極めて自然なことである而して秋の季節に、物資が豐富過剩に存在することから、自ら物資の交換が盛行され、從つて交換をなすこと自體に對しても「アキナヒ」—商と云ふ言葉が生じて來たものである。秋と云ふ言葉には自ら物資が殊に農產物が、豐富に作得され、存在すると云ふ意味が早くから派生內包されて居ることを見逃しては、例へば「大倭豐秋津島」、「天御虛空豐秋津根別」「豐葦原之千秋長五百秋之水穗國」「千五百穗秋之瑞穗國」等の古語の意味は充分に諒解出來ないであらう。

三

次に秋と云ふ漢字について考ふるに、この字の古體即ち籀文においては「禾」偏に「龜」を旁として組合されて居るが、本義は禾穀の稔實を示すもので、それから派生して禾穀の稔實せる季節を意味するに至つたものと云はれて居るが偏の「禾」は稔實した穀穗の垂れ下がつた樣をその古體は示して居る旁において「龜」と「火」との兩字が組合されて居ることは、支那の古代社會の實際からすれば、極めて通俗的なことであつて、龜甲に依る占卜即ち龜卜を示すもので、新穀を祖神に獻じて行ふ新嘗祭又は我國の神嘗祭に相當する祭祀の折龜甲に依り占卜したもので、多くは翌年の作柄の豐凶を占つたものである。此秋祭は大體において陰曆十月のころに行はれたもので、詩經に「十月納禾稼」と云つた記載のあることからも考へられる。爰に興味のあることは、漢字秋の字音であるが、直接には「[illegible]」から出て居るが、元來[illegible]が「セウ」と發音することはその由來について、支那の字書にもこれを說明をしたものがないやうである。大體支那の文字には、その字音が、その構成分子の偏旁等又はその偏旁等の一部に音標として含まれてゐる。[illegible]の字も「龜」に即すれば「キ」であり「火」に即すれば「クワ」でなければならないが「セウ」又は「シュウ」と發音されるところに、字音研究の立場からすれば非常に面白いものがある「シウ」又は「セウ」の音の由來に、龜甲を火に焙つた折の實際の音に關するものだと考へられる。因に龜卜の法は黃河流域の古支那古代文化民族の風習であつたものが普遍したものであつて、我國へもこの風習が早くに傳來して文獻には崇神天皇の第七年二月の條に見えて居るが萬葉集にもそのことは見えて居る。京都御所紫宸殿東側の軒廊に龜卜の座が現存して居ることも一つの興味である。龜卜法の傳來する以前我國では太占即ち布斗麻邇として牡鹿の肩骨を波々迦の木即ち大櫻にて灼いてその割目の形に依つて吉凶を占つたのである。今日尙は蒙古民族の間にこの牡鹿の肩骨に依る卜法が遺つて居ることはその日本民族との關聯においてこれ亦大いに興味を感ぜしめらるゝものである

Leda

隨感　冷藏庫

蜷川虎三

暑休暇もいよ〱おしまいだといふのに、暑さの方は一向におしまいにはならないらしい。寧ろこれから暑中休暇といふ陽氣である、といへば如何にも未練がましく聞ゆるが、實際暑い。何しろ冷藏庫の中の物さへ腐るといふのであるから殺人的な暑さである。

もつとも冷藏庫の中の物の腐るのは暑さが直接の原因ではなく、暑いために市場の氷が不足して配給の不充分の結果冷藏庫の中に氷がなくなるためだとの話である。確かに、溯れば暑さが原因には違ひないが、實は冷藏庫が既に冷藏庫でないことによるものである。形は如何にも堂々たる冷藏庫でも氷を失つた冷藏庫はもはや冷藏庫ではない

……◇……

一寸「らて倶楽部」のやうな話になるが、世間にはかうした間違いが少くないのではあるまいか。このごろ流行の「統制」なども氷を失つた冷藏庫ではあるまいか。

商賣の工合が惡いと「統制」をやれといふ。出ると負けのオリムピックの跡評に曰く、どうも「統制」がとれてゐない……。經濟政策も非常時打開は「統制」である。だが、「統制」は果して萬能藥であらうか。併し統制が統制たり得るためには矢張り氷が入用である。

謂ふ所の氷が何んであるかは問題であるが、兎に角、統制が目的とする所の效[illegible]を効果として實現する要件である。殊にその中でも統制の方法手段は忘れてならぬものがあらう

くどいやうだが、氷が手に入らぬ所でどんなに立派な冷藏庫の設備をしたつて役に立つものではない「統制」も如何なる方法手段をとるかも明かにしないで效能を信じろといふのは無理である。ところが世間の一部の人はそんなことには頓着なく統制を謳歌するが、この種の人は氷を失つた冷藏庫の中のトンカツの殘を食つてプトマインの中毒を起す類の人である。統制中毒疑ひなしだ。

……◇……

話が理に落ちて恐縮であるが、統制中毒ばかりでなく、どうも近ごろの社會情勢を反映してこの種の中毒事件が多いらしい。勿論、アイスケーキや榮養食の中毒を指すのではない。それといふのも暑さのためかも知れないが、政策論の範圍に關する限り、空想や願望やらを、何等具體的方策を考へることなく、しかも現實の社會的政治的、經濟的諸關係を無視してこれを政策の目標とすることから起つてくるのではあるまいか。甚だしいのになると、單なる願望が恰も現實の如く見られてゐるのである。こうなるとアル中以上の代物といはねばならぬが、盲千人の世の中、これが存外受ける

だからといつて世間は甘いものだなどといふのはどうかと思ふ。正しい科學こそ正しい方法を援けるので、インチキは何處までもインチキである。氷を失つた冷藏庫はもはや冷藏庫ではない。學問だつて同じことだ。

……○……

かういつて來ると、如何にも冷藏庫には氷がつきもののやうであるが、それは我々の貧乏生活での話で、當節は電氣冷藏庫の時代だといはれる。これがいつごろから出來たのか知らないが、今から十八九年前、私の親友の一人で東大の理科を了へた男がしきりに氷のいらない冷藏庫を考へたら大發明だといつてゐたことを思ひ出す。

この友達は數奇な運命を以て世を去つてしまつたが、實は私が經濟、彼がなほ法科をやるつもりで勉强をして來たので、私はことに觸れ彼がゐたらと思はないことはない。實に頭のいゝ男であつた。しかも冷藏庫を考へてゐたとはいへ、氷のいらない冷藏庫を考へてゐた位で、情熱的な男であつた。なぜ死んだか、こゝに語つてゐる餘裕はないが、氷のない冷藏庫を前にしてまじ〱してゐる我々を彼は微苦笑を以て憐んでゐるに違ひない

彼が死んで十五年になる。生涯に何人もの友達は得られるものではない。その一人を失つて、來る夏ごとに私は悲しみを新にする。一夏彼と京都で暮したことがあるからである。冷藏庫も[illegible]その時の話であつたと思ふ。

OLYMPIC　道聽塗說

大坪一

今年の夏は世界の視聽を集めた出來ごとが二つあつたがオリムピックの會期中はこの方がスペインの革命なんか何處の騷ぎだとでもいふやうに一般の人氣を獨占の形だつた。大會が少くとも表面上は先だつたのだからこれも當然かも知れないが、よくいへば忙中の閑日月といふ奴で、悠々たる世界の遊びつぷりが賴もしい。惡くいへばまあ學校の講議を、したり聽いたりしなければならないと思ふ心を、足がシネマの方へ引つぱつてでもゐるやうなものか。と申しては方々からお小言が出よう。講義がより重大なことは無論だし、シネマだつて立派な意義がある人だから。トーキーなんて罐詰藝術だと、これはアメリカ文化に憤然としたフランスの作家ジョルジュ・デュアメルの言葉だが、さう白眼をむいても始まらない滔々たる文化の流れだ。大いにその罐詰の味を翫樂したり製造法を研究したりするのが惡いのでは更々ない。

——◇——

オリムピックに至つては競技者はもとよりスタンドの觀衆も故國の皆樣も全く懸命だつた。文句をいつては罰があたる。皆の眞情は涙ぐましいどころぢやなかつたのだ涙ぐましいなんてのは現代ジャーナリズムにおける流行語の一つに過ぎない。しかしそゝつかしい後世の史家が、この文字の頻出に面喰つて現代を非常に涙脆い時代だつたなどゝ錯覺を起すと可哀さうだから、これはなるべく敬遠して使はないやうにしよう。ことに眞實の感情を表さうとする時にはだ。さて、オリンピックの精神はこれはまた誠に崇高である。古式に則つてゼウスの神殿とかゝら競技場にリレーされた聖火は、すでにヘラス國家の祭典の炬火ではないがそれは汎大洲和親協同の大理想の光明なのだ。この理想の今一つの象徵たる五輪標章が、拔目のない御連中のために意匠の權利問題の土俵に踊らされるに至つたのにはうんざりするが、これについて一つ御願ひがある。實は前回ロスアンジエルス大會の時のアメリカからの案內狀だつたと思ふが、それを見せてもらつた時、この五輪の各々の下にラテン語か何かで「强く」「高く」この他何だつたか忘れたがこれに類する語が書いてあつたやうだ。それが五輪の精神を表るものなのか、或は、これこそ「意匠」の一つに過ぎないのか、篤志の方があつたらお序に敎へて頂き度いと思ふのである。大會が主催國の國威の發揚と國民精神の作興とに貢獻するといふ立派な效果のあることは勿論だ。ナチ・ドイツの大立物ヒットラー、ゲーリング、ゲッベルスの面々綺羅星の如く居並び、講釋師がやりさうな光景も仲々味があつたらうムッソリーニならもつと派出に催したらうと、とかく想像がローマのコロッセウムの姿に走り出してならない。ロシヤは從來この國際競技に參加してゐない、現にスポーツ三年計畫の實施中で、來るべき東京大會には世界記錄の半分をさらつて行く意氣込みだとか話半分にきいても甚だ健氣である例の世界一狂の好漢アメリカ、新興の馬車馬ドイツとイタリー、それに次回をとられたフインランドなんかが夫々の面目にかけて猛然と攻擊して來ることはいふまでもない。これをホーム・グラウンドに激擊すべき日本の若い衆たるもの、褌やら鉢卷やら眞白な眼のチカチカするやうな奴を、ぐつと締めてかゝらずにはゐられぬところだ。

——◇——

誰しも、今年の日本水陸選手諸君の奮鬪とその輝かしい戰績には委員や監督諸氏の御努力もさることながら、全くうれしかつた。それに日本選手は非常に規律正しいので褒めものになつたといふことだ。あれだけの人數ではあり夫々その道の第一人者なんだから、あゝした場合には兎角內部に多少のごたつきがあり勝ちなものだが、それがなかつたとすれば誠に幸である。我々は心から有難うといはねばならない。だが、忘れられないのはあの吉岡が遂に四着にしかはいりになかつたと知つた時、我々の心を蔽つた暗澹たるものだ。或はまた水上四百米で鵜藤がメディカに惜敗した瞬間、ベルリンからのラヂオはどんな響となつて我々の耳を衝いたことだつたか。それに陸上水上以外の諸種目における日本のさびしさは必ずどうにかされねばならない。これは當事業への誹文といふよりは新聞や放送方面への誹文だ。尤も金の問題もあらうし、國民の心理をも顧慮する要はあらうが、國民をおだてるばかりが能ぢやない。

◇

勿論競技は勝つことだけを目的とするものではない。勝敗に超然たる純粹スポーツは立派にありうる。そしてそれは先生方のゴルフみたいなもので、國際戰場では出陣覺束ないだらう、とひそかに考へたりするのはもとより大變失禮である。だからといつて勝敗の數に問ふところではない、たゞ最善を盡すのみだ、なんて態度はお上品に過ぎよう。それは勝利の榮冠といふものが嚴存する以上オリムピック精神と完全に一致するかどうか。新しいレコードをつくり出してこそその勝利だといふのも一理である。スポーツの世界に進歩があるとすれば、改められたレコードこそその最も顯著なものでなければならない。だからこれに何ものかをプラスすることなしに何の進歩ぞといふことになるかも知れない。人類の速力や上昇高度はよくこれが最高限度だらうと幾度もいはれながらその上その上と出て來た。これぢや何處まで行くか心配になりさうだ。しかしその中には、人體が流線型になつたりするより先に、競技の形式とか目的とか或はレコードの取り方とかに變革が起りはすまいか。スポーツばかりでなく文化各方面において同じやうな問題があるが・こんな風に考へることが出來よう。レコードの最大限については、まあこの邊で安心しておくとして、競技ではフエヤ・プレイを以て相手を抑へることに成功しなくちや何にもならない、といつて了ふのが現實的で簡明直截だ。オリムピックのやうな國際競爭場裡では技術や體力の優秀といふことの他に、種々な方面とのデリケートな關係といふ難關にも打克つて行かねばならない。そこにかうした戰爭の大きな意味があるんだと思ふ。國家的事業として世界を相手にこれに參加したり主催したりするには「廣義スポーツ」がなくては全然駄目だそれにフエヤ・プレイなるものにしろ、その定義さへ下し得くなるやうな時代を、先のデュアメルなんかなら想像しまいものでもない油斷も隙もならなくなるのである例へばスパイ跳梁の國際情勢はスポーツの殿堂武士道の道場を「マタ・ハリ」「X27」「第二情報部」などの舞臺にしないとは保證が六つかしいともいへようか。尤もさうなつたら忍術をオリムピックに加へることにすればいゝだらう。何しろ武藝十八般の一つとして、輕快な身體動作と敏捷な精神活動の修業にはこの上ないものだから。その競技に至つてはこれ程スリルとミステリーに富むものはあるまい。放送にでもして「あゝ見えなくなりました。全く忽然として雲がくれてしまひました。……あれあれ日章旗をもつてメイン・マストに登つて行きます……」てなことになつたら愉快である。無論これは冗談として、スパイなんかの合場を考へるのは餘りに世の中を黑眼鏡で見ることで、いやだ。

◇

柄にもなくオリンピックを談じたりして變てこなところへ落ちて了つたが、選手自身をはじめ父兄母姉同窓鄕黨から一般國民に至るまで、勝利を神かけて念じ又それを感謝されたことは誠に當然だ。苦しい時の神賴みなんていふいゝ加減なものぢやあるまい。お膳立てばかり大袈裟な、お祭騷ぎ的な願がけや御禮參りは嘲笑にしか價しないとしても、眞劍に祈る人の氣持は恐らく最も純粹なものだらう。それは一個の至誠であり、天に通じないではやまぬ底のものだ。しかし選手の優勝を祈るにしても彼等がその人事を盡すことのみを祈るのでなくちやならない。天祐の加護を願ふ心が、神に假裝させられた「偶然」の心象をよくしようなんて賭博根性からのものなら馬券の前で手を合せる時にでもやることだ。抑も日本精神はインチキな溷濁した神祕主義的なものではなく、淸明な感覺と理性との肌合ひをもつたものだ。民俗學などの方面から見ればから論斷するのも性急には出來ないかも知れないが、ともかく我々の戰勝祈願も亦この淸明の心境においてなされるべきである。そしてそこには單なるお祭騷ぎも、いや味な皮肉も共に居たゝまらないであらう。戰勝祈願ばかりぢやない。オリムピック競技そのものがかうした精神を以て行はれる時、本當に氣持ちがいゝだらう。世界平和のために日本のなすべきことはこの祈りの心の至誠に貫かれてゐるべきであり、それによつてのみ參加者或は主催者としての態度も緊張も保たれるのだ。

——◇——

秋風一たび到つて三伏の炎暑もとみに冷々とする。新聞も書き立てず、夜半にラヂオの泣き出すこともなく、おまけに休暇もおしまひといふ頃ともなれば、オリムピックも一場の眞夏の夜の夢と消えてゐよう。しかし何しろ四年後には東京だ。さぞ大變なことだらうと取越し苦勞がし度くなる人間はまあこんなことを考へながらオリムピック競技が神事だつたギリシヤの昔にいさゝか想ひをはせて見ることになると、我々に大分近い[illegible]納の競馬や角力なんかも、更に二十世紀のオリムピックも亦疑はれないでもない。しかしそれはやうやく終つたばかりの、そしてやがて一層の力と美とにおいて再現するであらう盛觀に盲になることだらう。皇紀二千六百年紀念といふ國民祭と共に行はれる次の東京大會が古代オリムピックの精神に合致するものであることも思はねばならない。そして今度こそは罐詰でない實況を滿喫出來るのを期すと共に樂しみにしよう。ところで今夏ベルリン大會に人氣をさらはれたスペイン革命は東京大會出場諸國にどんな影響を與へてゐるだらうか、これも一つの樂しみたいなものかも知れない（終）

原稿募集!!

初秋の紙面を飾るべく今回左記の通り原稿を募集しますから奮つて應募の程を願ひます

一、題目…祭に關する隨筆並に考證

一、期日…十月五日迄

一、枚數…四百字六枚程度

寫眞があれば貼付されたし

千里山學友會

新聞部

關大ボーイ歡迎
公孫樹（いてふ）
皆樣！ぜひ御立寄を
【九月廿三日開店】
天神橋三丁目東側
純喫茶

皆樣！
今學期も
相變らず―
佐々木寫眞店
櫻橋交叉點東入
電・北四九二三

御食事は
簡易で便利な
學內食堂で

食事
喫茶
は
東福屋にて召せ

爽涼の秋
スマートな
身仕度は
心ぶらのおついでに
元洋服學校（心齋橋筋大寶寺町角）
株式會社 洋服デパート

ヤングマン服裝專門店
爽涼の秋來る
皆樣のお好みは
河合洋服店
日本橋一交叉點角　電南三三八一

特別料理
一、テーブル　金拾五圓（五人樣より十人樣前）
特價二割引　金拾貳圓
一、テーブル　金貳拾五圓（十人樣より十五人樣前）
金貳拾圓
外ニ[illegible]致します
中華樓
北區曾根崎新地一丁目
電・北・二九六六

食事
喫茶
大學前
マルミヤ

御食事は
きつとお氣に召す
千里山驛前
☆福井食堂☆

靜かで
美味な
大學莊
學部正門西入ル

是非……寫眞は……當店で
上福島中一丁目電福島1166
歌橋寫眞館